

# わたしたちの川内町

小学校3・4年生

社会科資料

平成6年度改訂版



温泉郡川内町教育委員会編

三年

もくじ

四年

○学校のまわりのようす

○川内町の地図

一	すみよい町に	1
(一)	明るくゆたかなくらしを	1
(二)	美しい町をつくる	7
二	わたしたちのすんでいるところ	9
(一)	わたしたちの学校のまわり	9
(二)	川内町の土地のようす	16
三	わたしたちのくらしと商店がい	18
(一)	町内の商店がい	18
(二)	楽しい商店がいづくり	23
四	土地にあわせた人びとのしごと	26
(一)	川内町の人びとのしごと	26
(二)	農家のしごとのくふう	29
(三)	工場のしごとのくふう	43
五	川内町のうつりかわり	50
(一)	むかしのくらし	50
(二)	町にのこる古いもの	53
(三)	川内町のうつりかわり	60

一 住みよい生活

(一)	わたしたちのくらしと川内町の水	69
(二)	ごみを少なくする運動	76

二 安全な生活

(一)	火事を防ぐ作戦	83
(二)	交通事故のない町に	90

三 地域の開発

(一)	川内町のためにつくした人びと	93
(二)	新しい地いきづくり	96

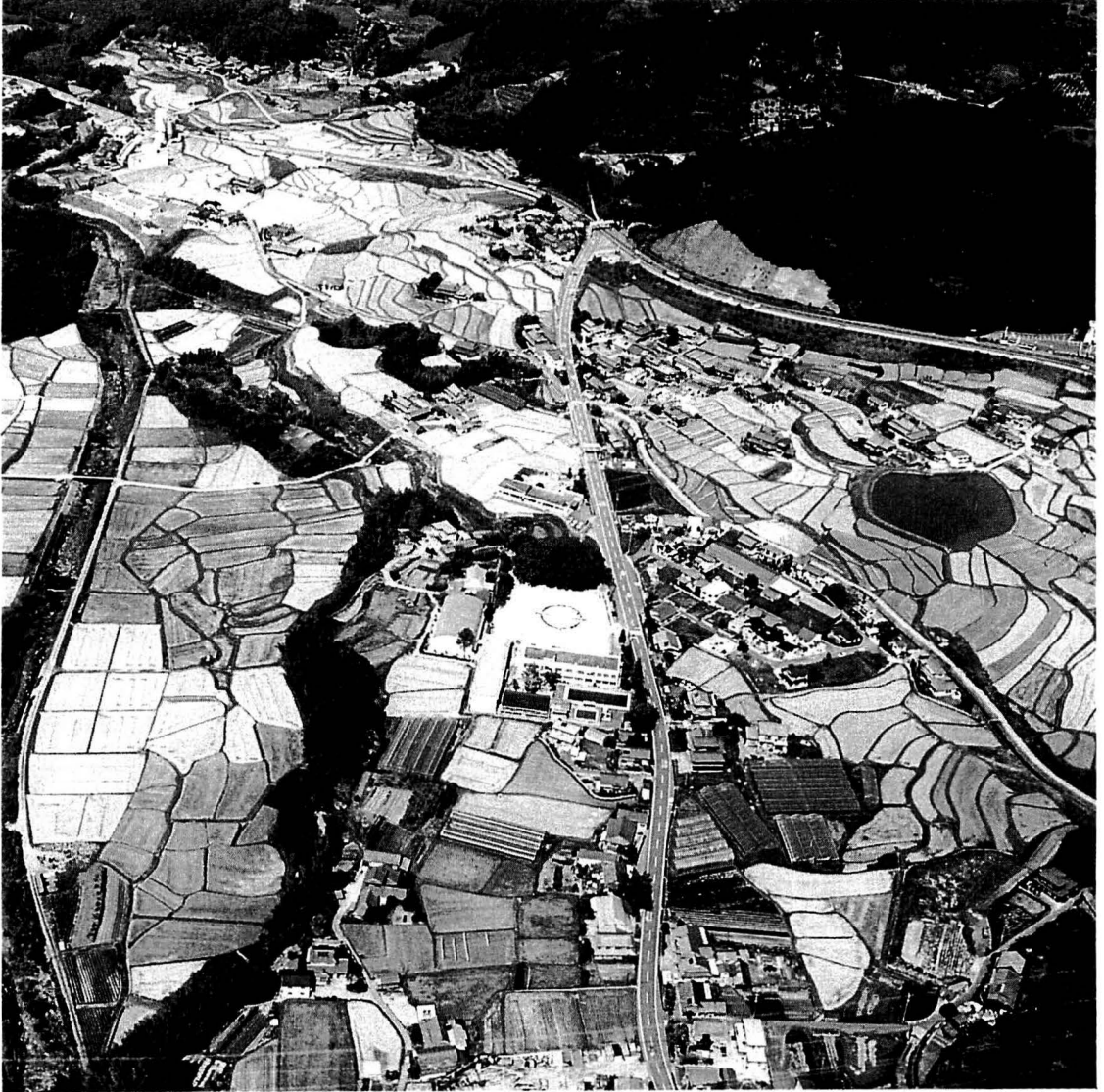
年表

(教師用資料)

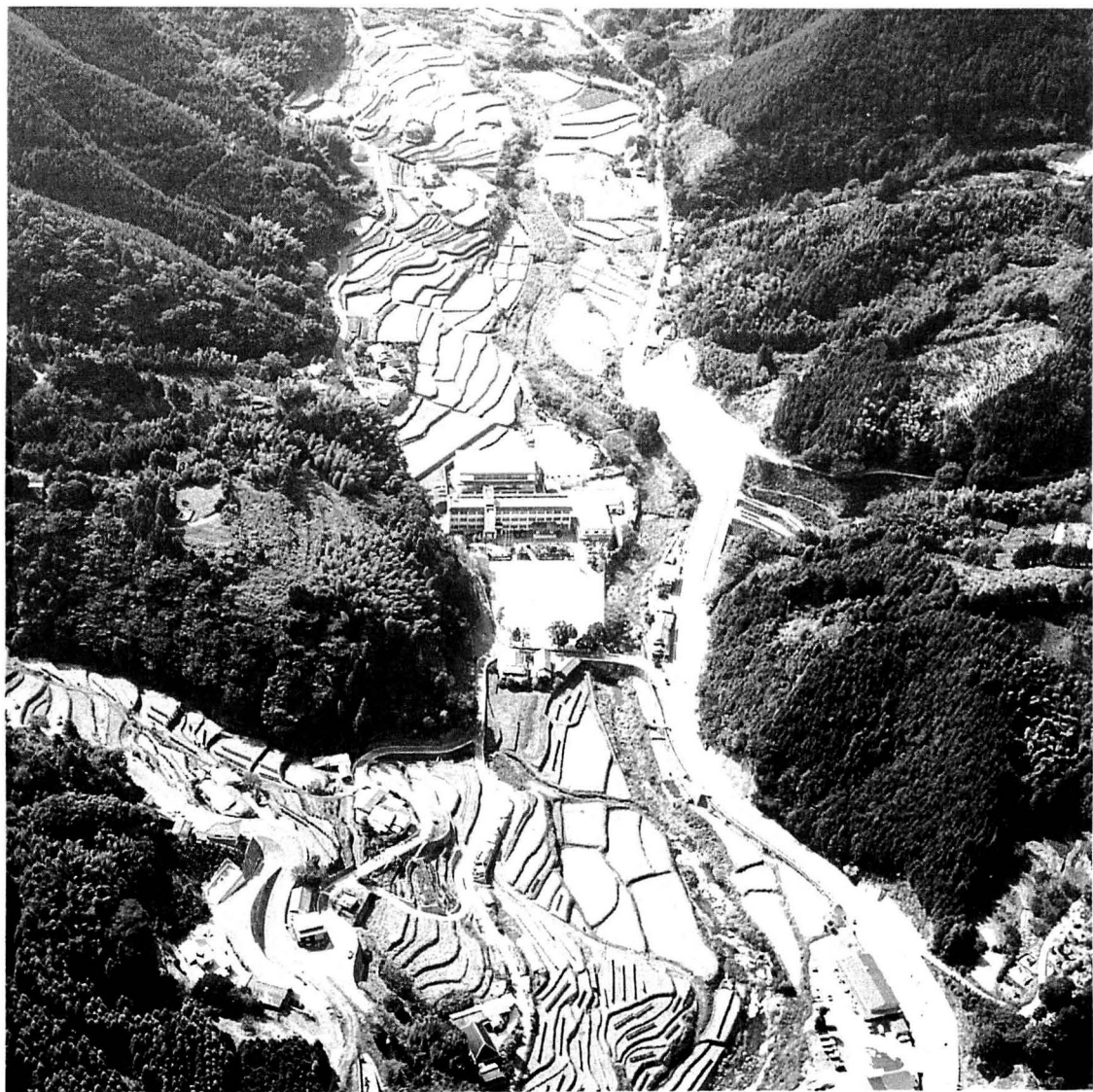
(一)	川内町のうつりかわり
(二)	くらしやどうぐのうつりかわり
(三)	学校のうつりかわり



# 学校のまわりのようす



東谷小学校のまわりのようす (平成6年10月さつえい)



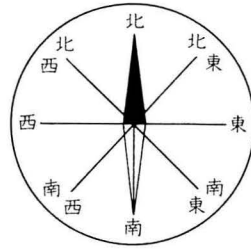
西谷小学校のまわりのようす (平成6年10月さつえい)





川上小学校のまわりのようす (平成6年10月さつえい)

# 川内町の地図



## 地図記号

- 市や郡のさかい
- 町や村のさかい
- 町役場
- ㊦ ゆう便局
- × 交番
- ⊙ 工場
- ⊕ 発電所
- ⊙ 学校
- ▲ 山の頂上
- ||| 橋
- ⋯ 名勝等
- 卍 神社
- 卍 寺
- Ⓝ のうきょう
- Ⓜ テレビとう
- Ⓜ トンネル
- 家の集まったところ



※ 1.5cmが1000m





三年 一 すみよい町に

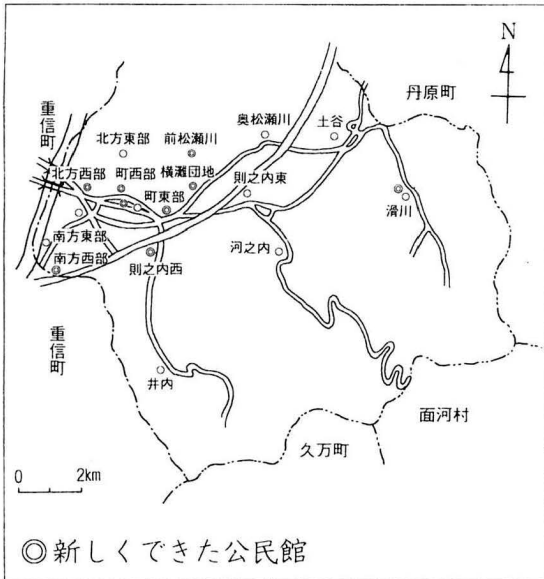
(一) 明るくゆたかなくらしを

町の人たちは、明るくゆたかなくらしをおくるために、どんな場所で、どのような活動をしているのでしよう。

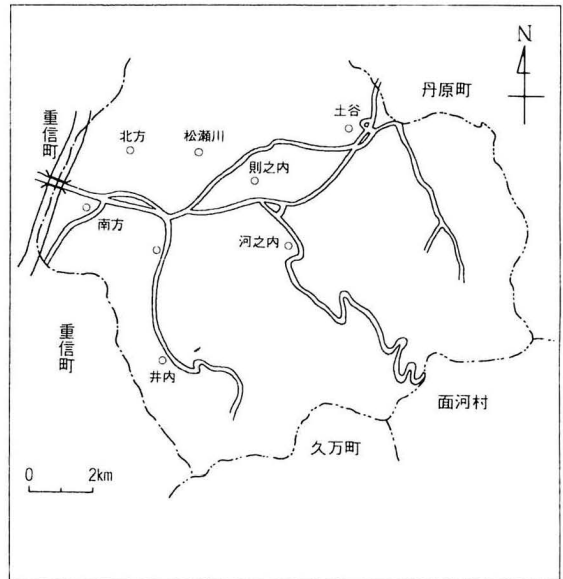
▼調べる計画▲

- 中央公民館ちゅうおうこうみんかんは、どのようにしてつくられていったのでしよう。
- 中央公民館の中は、どのようになっているのでしよう。
- 公民館でする活動には、どのようなものがあるでしよう。
- 人びとは、どのように利用しているのでしよう。
- 老人ホームは、どのようなところでしよう。

川内町の公民館の数



今 (平成6年)



むかし (35年前)

# 1 町の公民館

## (1) 新しい公民館ができるまで



はじめてたてられた中央公民館

はじめて中央公民館が建てられたのは、昭和三十八年です。この建物なまはせまいので、町の人たちは利用しやすく、いろいろな活動が行える公民館がほしいというねがいをもって、いきました。そこで、町内会や商店会の人たちと婦人会みじんや青年団の人たちが集まり、そのねがいを町長さんや町議会ちやうぎかい議員ぎいんのみなさんに伝えました。町議会では、このねがいをどうするか話し合いました。町長さんや町議会議員のみなさんは、豊かな町づくりを進めるため

に、新しい中央公民館を建てるのが大切だと考え、建てかえることを決めました。そこで、計画が立てられ、町長さんは県や国に、公民館を建てるための費用の一部を出してほしいと働きかけました。こうして、昭和五十三年四月に新しい中央公民館が建てられました。

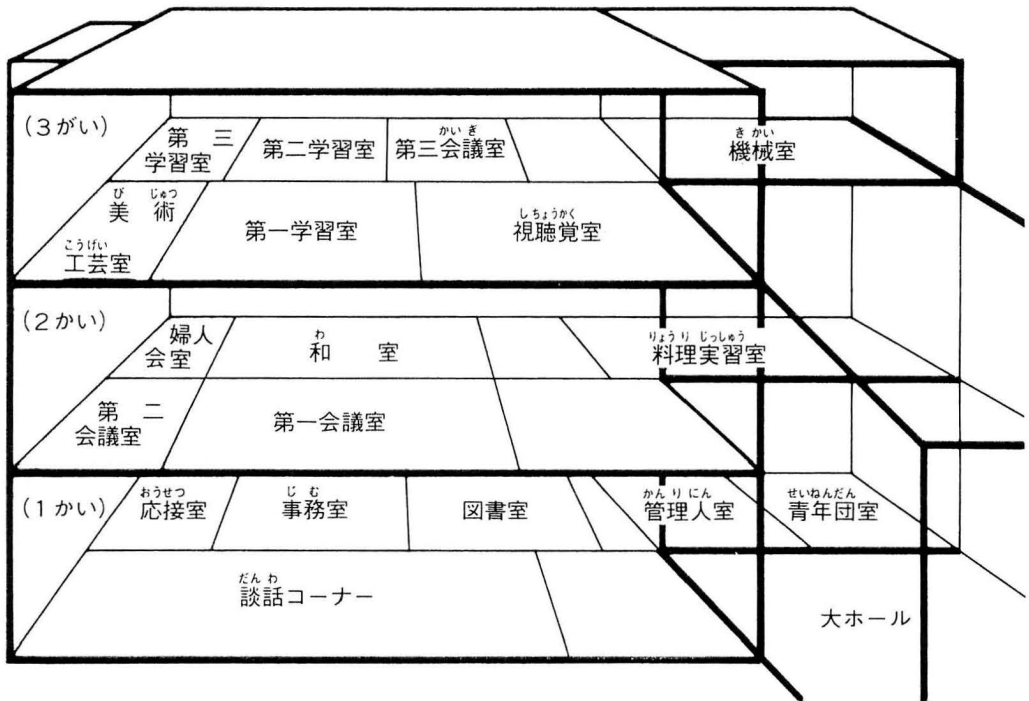
## (2) 中央公民館の中のようす

中央公民館には、さまざまな施設しせつ・設備せつびがあります。婦人会、老人クラブ、その他、町の人びとのいろいろな会合ていきてきや定期的な講座こうざ、えい画会、料理のこう習会、読書会などに広く使われています。






今の中央公民館



中央公民館の中のような

中央公民館の定期的な講座（6年度）

学級・講座名	日時	費用	内容
さくら 桜学級 	7月から 年7回	無料  (教材費等 自己負担)	ちいきじよせい かつせいか ほか 地域女性活動の活性化を図る  こうえんかい かんきょう げんこう 講演会・料理・環境問題研究な ど
レディースクッキング 	7月から 年8回  毎月 第1金曜日  午前 9時30分～	無料  (教材費等 自己負担)	家庭で作れる料理のコツを学ぶ  ようふう 料理 わふう 料理 ちゅうか (洋風料理・和風料理・中華風 料理)
おしゃべり講座 	7月から 6回 シリーズ  午後 7時30分～  (日の変更が あります)	無料  (教材費等 自己負担)	けっこん 式 結婚式でスピーチをたのまれた 時や弔意のあいさつなどその時 ・場所に応じた話し方の勉強を してみませんか
えいかいわ 楽しい英会話教室 	毎週水曜日  午後 7時30分～  (日の変更が あります)	一回 300円	クラウス先生による初歩の英会 話  たどえば海外旅行をしてみよう と思っている方参加しませんか
かいが 絵画教室 	毎月第1・ 第3水曜日 午後8時～	無料  (教材費等 自己負担)	絵筆を持つことから始めます
こうこがく 考古学入門講座 	7月から 7回 シリーズ	無料	川内町の古代から時代別に詳細 に学ぶ講座です

ほかにも、たくさんの講座があります。（講座案内パンフレットより）

きを深めたり、地区の公民館ではできないよ

(3) 公民館での活動・行事

中央公民館では、町全体の人びとの結びつ  
す。うな活動・行事を計画したりして進めていま



(4) 中央公民館の利用



陶芸教室



図書室



文化祭



英会話

このように、町では、町民の声をとり入れ、くらしをより豊かにするために、工夫し、計画をしています。

地域の<sup>ちいき</sup>人びとの声

わたしは、中央公民館ができたことで、いろいろな人に出会うことができました。また施設がよくなり、行事もたくさんふえて、わたしの待ちのぞんでいたパン教室もでき、第二・第四金曜日をとても楽しみにしています。

## 2 お年よりのためのしせつ

○ 特別養護老人ホーム（ガリラヤ荘）  
とくべつようごろうじん

年をとって病気になったり、体（こしや足など）が不自由（ふじゆう）になったりして、自分の家で生活（せいかつ）することが、たいへんこんな人たちのためにつくられたのが、この老人ホームです。六十五才（さいじゅうご）以上の人たちがいて、そのうち十九人は、「ねたきり」の人たちです。

ホームには、この人たちを治（ち）りようするお医者さんや世話（せわ）をするかんごさんなどが、おおぜいつとめています。

お年よりの楽（たの）しみになるようにホームでは、いろいろなクラブ活動（きやうじ）や行事（ぎやうじ）をおこなっています。

ボランティア活動で小中学生や高校生の人たちが、話（わ）やげきをしにきたりすると、ホー

老人ホームのたてもの



ボランティア活動の様子

ムのお年よりたちは、とっても喜（よろこ）ぶそうです。

## (二) 美しい町をつくる

川内町には、重信川をはじめ表川、本谷川、井内川、中山川など、たくさんおもしろの川があり、やがて瀬戸内海せとないかいに流れこんでいます。

川をきれいにするために、人びとは、どのようにしているのでしょうか。

### ▼調べる計画▲

- むかしの川の様子について、おじいさんなどに聞く。
- 自分たちで川岸がしを歩いて調べる。
- 川をきれいにするために、どのようにしているかを役場やくばの係の人に聞く。
- 川をよごさないために、家ではどのようなおもしろにしているかを、お母さんなどに聞く。
- 川について、本で調べる。

## (1) むかしの川の様子

川上商店街しょうてんがいぞいに流れている小川は、表川と渋谷川しぶたにから流れてきています。

六十年ほど前のこの小川は、たいへんきれいで魚がたくさん泳ぎ、夏にはホタルがとびかかっていました。川ぞいの人たちは、野さいやお米などを洗あらったりして、この小川の水を毎日の生活まいにちに役立やくてていました。

しかし、三十五年ほど前から、たくさんおもしろの家や上流じょうりゅうの工場から出るよごれた水が流れこむようになりました。川の一部もコンクリートで固かためられ、自然しぜんにきれいにする力が弱よわめられてしまいました。そのうえ、ごみをすてる人も多くなってきました。そして、小川はだんだんとよごれてしまいました。

## (2) 小川をきれいにする人びとの努力どりょく

二十五年ほど前、町内会でこれ以上、小川をよごさないようにしようと話し合いました。

小川にごみをすてないようにしようとときめたり、毎年一回、大そうじをしたりしてきました。また、「川をきれいにしましょう」という立て札たてふだを立てたり、広報こうほうでよびかけたりもして、家から出る生活排水けいふたすいに気をつけてもらうよう、協力きょうりやくをお願いしてきました。上流にある工場は、国のきまりでよごれた水をそのまま、川に流さないようになりました。

その結果けっか、近ごろでは、川に投げこまれる空きかんや空きびん、ビニルなどが少なくなりました。水もきれいになりました。

川がよごれる原因げんいんや、川をきれいにするためには、どうしたらよいかを、話し合ってみましょう。



水をきれいにするのに役立つ  
石づみの川岸



川をきれいにするための  
よびかけの立て札



## 二 わたしたちのすんでいるところ

### (一) わたしたちの学校のまわり

学校のまわりの土地は、どのようにつかわれているかしらべてみましょう。

川上小学校の正男まなおさんたちは、おく上から見たことを話しあい、学校のまわりの土地がどのようなにつかわれているかしらべるけいかくをたてました。

#### ▼正男さんたちのしらべるけいかく▲

しらべること	土地のひくいところ ・たてものようす
しらべかた	歩いてしらべる。

・田や畑のようす

○ 土地の小高こたかいところ

・くだもの畑・森や

林のようす

○ たてものようす

・学校の南がわのきゆう道にそって

・北がわのおかにそって

・西がわの重信しげのぶ川にそって

○ わかったことを白

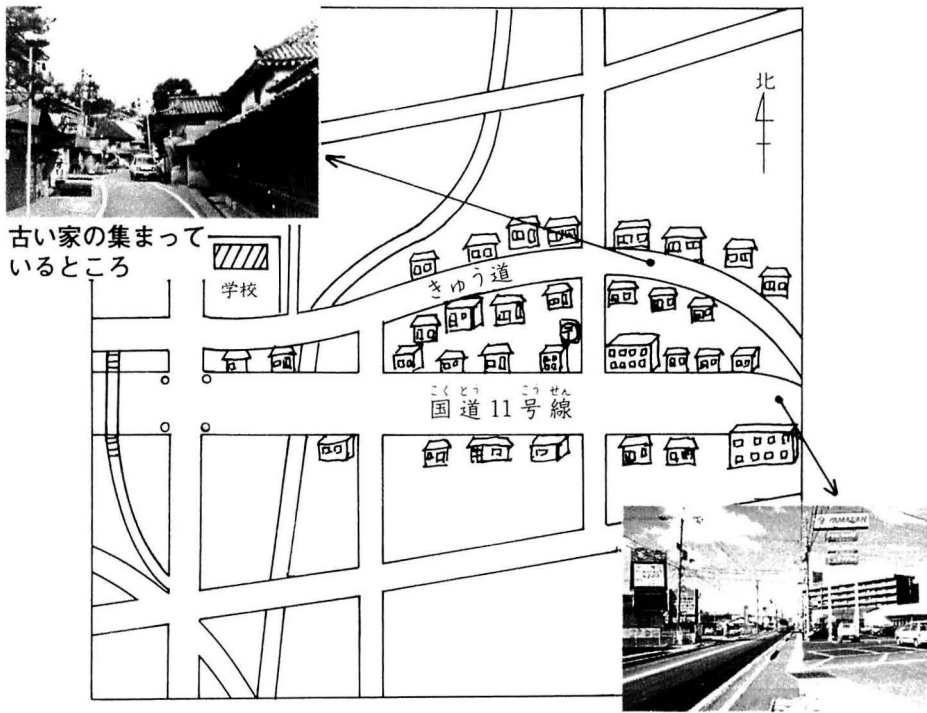
地図にかき入れ、絵地図をつくる。

## 1 川上小学校のまわりのようす

### (1) 学校の南がわのきゆう道を歩く

きゆう道には、むかしの古い家がたちならび、商店しょうてんも多く集まっていることがわかりました。きゆう道の南がわには、国道十一号線が通り、車のいきぎがはげしいことがわかりました。また、道ろには、ガソリンスタンド

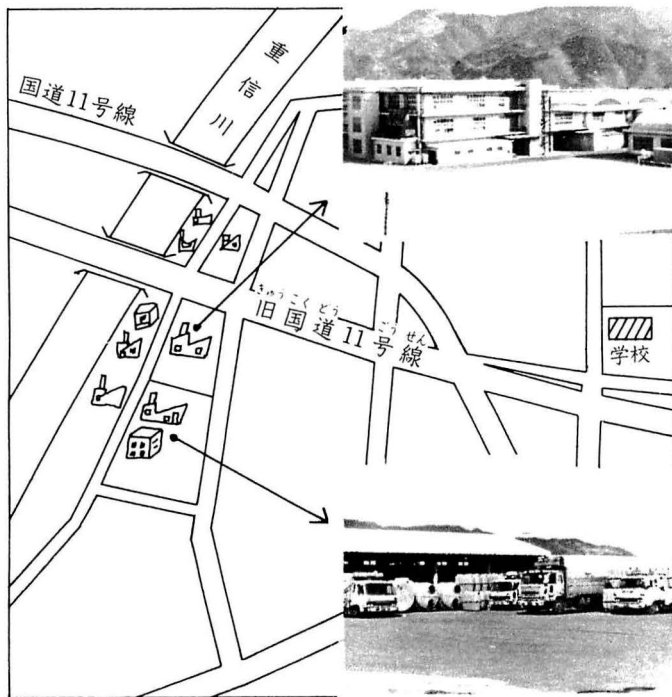
やスーパーマーケット、バスの停りゆう所など、車とかんけいのある店の多いこともわかりました。



古い家の集まっているところ

二つの道を歩いてしらべたこと

国道11号線ぞい

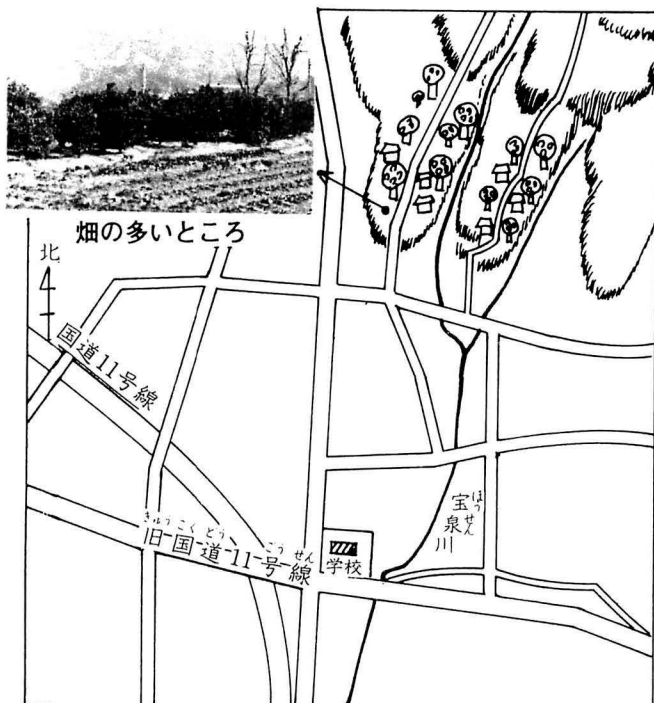


ダイツウ運輸 工場の多く集まっているところ

(2) 学校の西がわの重信川にそって歩いていきます。大きい道の左右には、生コンをつくる工場、コンピューターの部品をつくる工場、鉄こう所などの工場があり、荷物はこぶ宅急便などの事む所もあります。

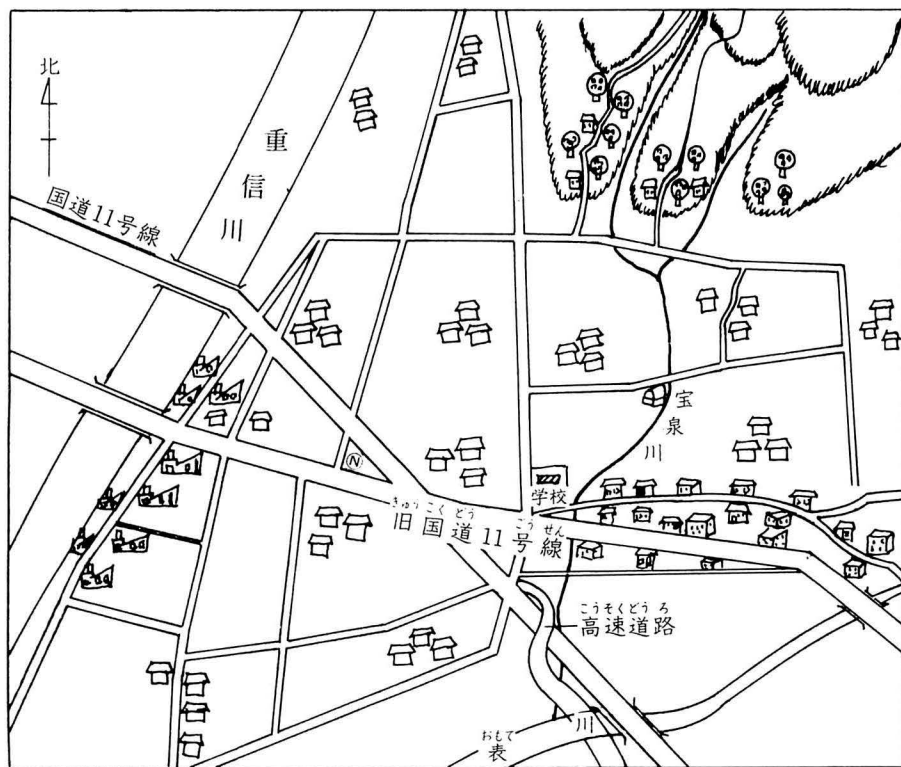
(3) 北がわのおかにそって歩く

正男さんたちは、学校の北がわにある小高  
いおかに行きました。ゆるい坂道をのぼると、  
みかんやかきの木の畑があちこちにあります。  
また、畑の中には新しい住たくもたっています。



みどりの多い北方だんの上

正男さんたちは、しらべたことを白地図に  
かき入れ、学校のまわりのようすがわかる地  
図にしあげました。



正男さんたちがつくった絵地図

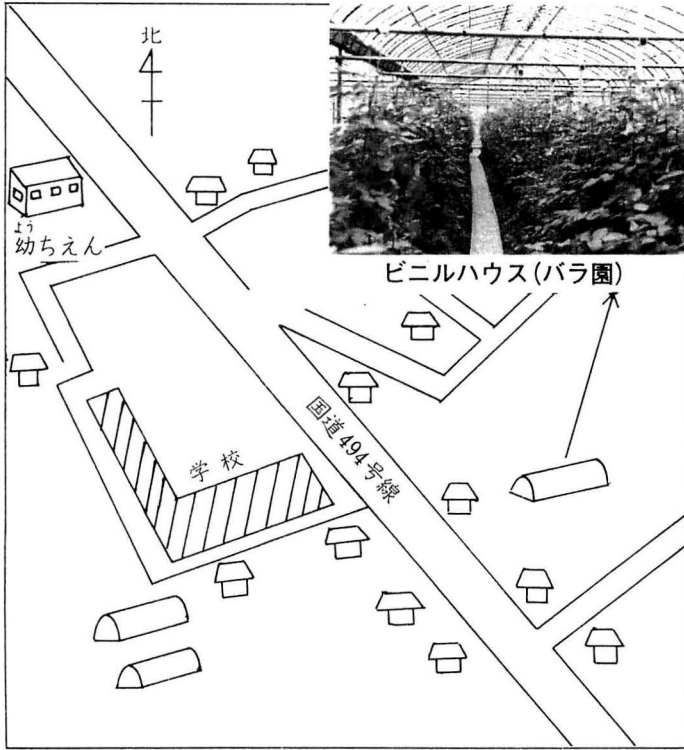




## 2 東谷小学校のまわりのようす

### (1) 学校の東がわの国道にそって歩く

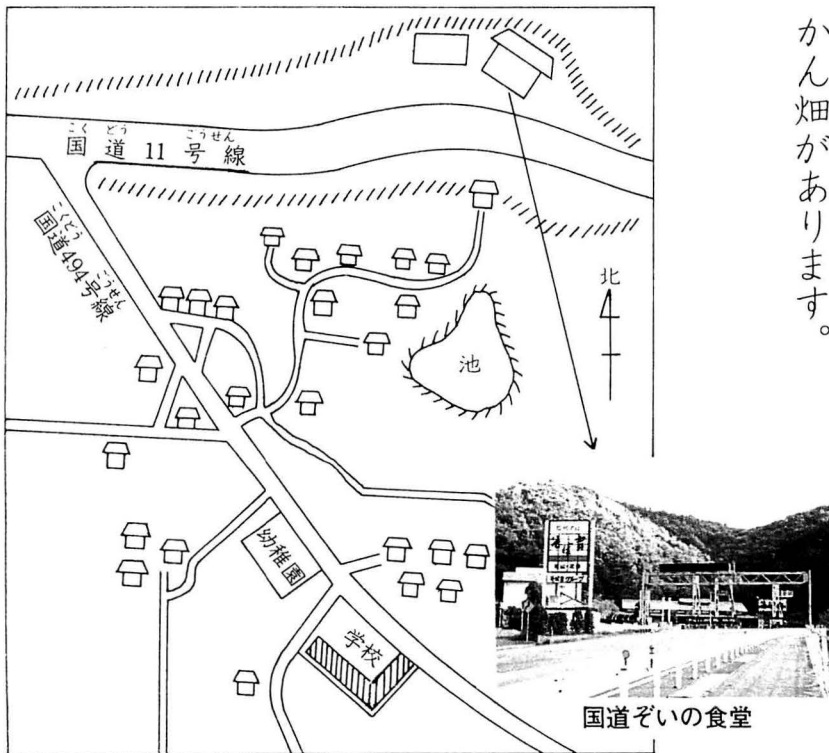
学校のすぐ東がわを通っている国道（四九四号線）にそって歩くと、新しい住宅やビニルハウスが見えます。そして、家のまわりには、田が広がっています。



学校のちかくでわかったこと

### (2) 北がわの国道にそって歩く

山ぞいを通っている国道にそって歩くと、食堂やガソリンスタンドなど車にかんけいのあるたてものがあります。近くの山には、みかん畑があります。

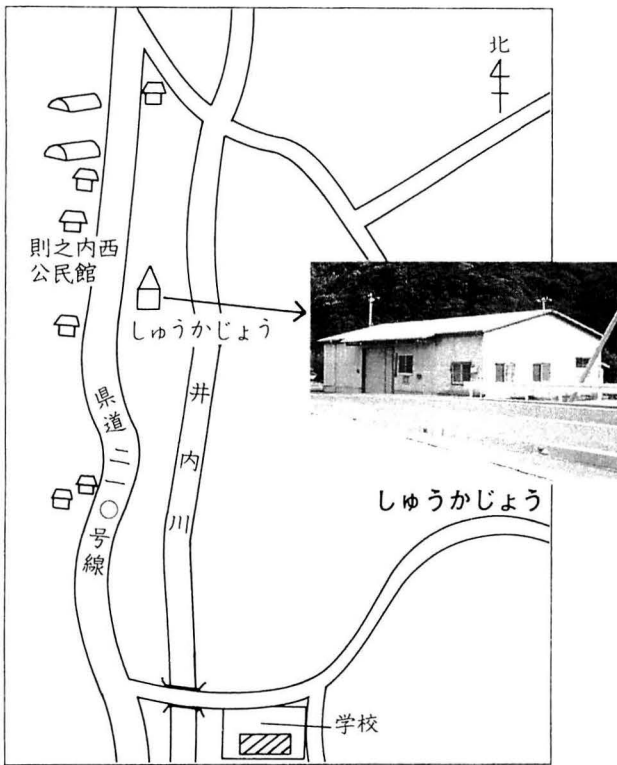


国道494号線にそって歩く

### 3 西谷小学校のまわりのようす

#### (1) 学校から県道を北に歩く

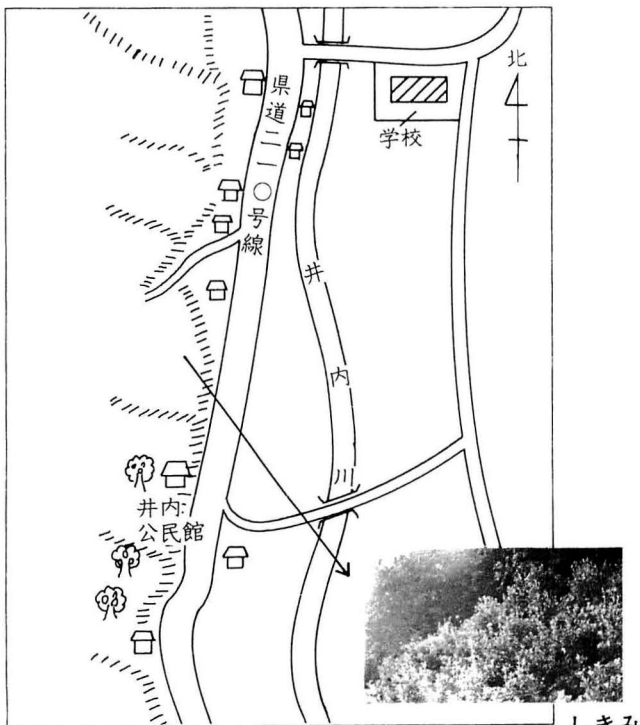
学校から下しもにむかって歩くと、和田丸わたまるがあります。ここには、のうやくをつかわないでやさいをつくるためのビニルハウスや田畑たはたがあります。



学校しもより下を歩いてしらべたこと

#### (2) 学校から県道を南に歩く

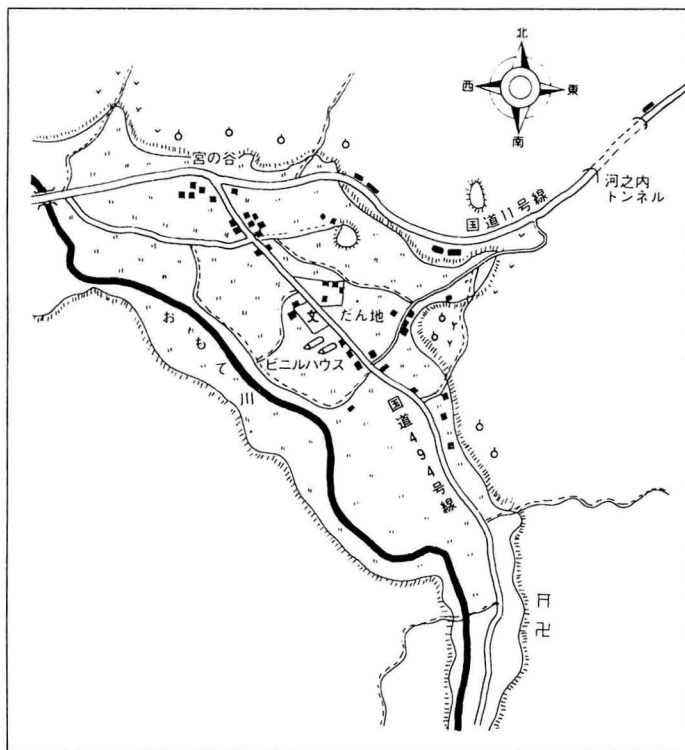
県道を上かみにむかって歩くと、右がわの山手やまてに、しきみの木やみかんの木がうえられてるのがわかります。左がわのひくくなつたところには、田や畑があります。



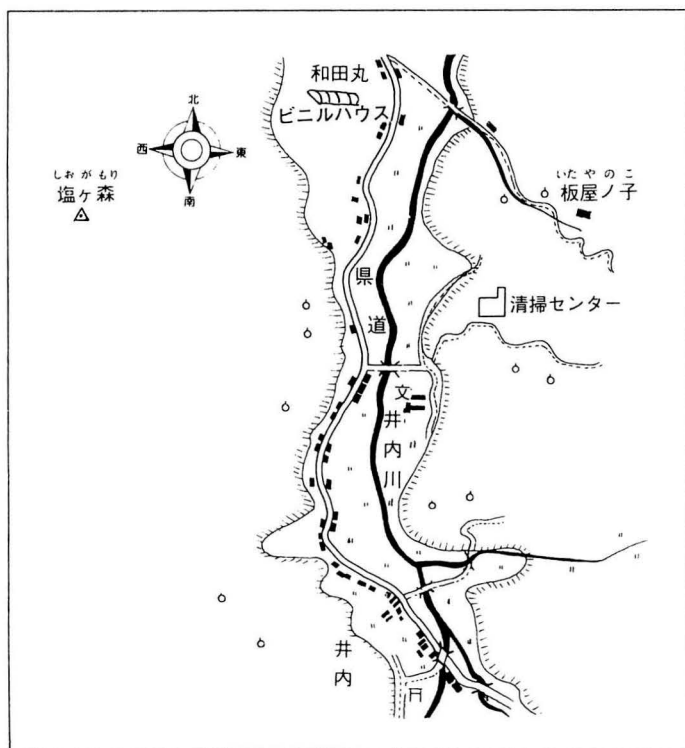
学校かみより上を歩いてしらべたこと

● 地図のきごう

○ つぎの地図は、土地のつかいかたをきごうをつかってあらわした地図です。十三ページ・十四ページの絵地図とくらべてみましょう。



東谷小学校のまわりの地図



西谷小学校のまわりの地図



地図のきごう

(二) 川内町の土地のようす

正男さんは、学校のまわりの土地のようすをまとめた後、川内町ぜんたいの土地のようすが知りたくなりました。そこで、みんなとそうだんして、しらべるけいかくをたてることにしました。

川内町ぜんたいの土地のようすやつかいかたは、どのようになっているかしらべてみましょう。

▼正男さんたちのしらべるけいかく▲

○ 土地のようす	しらべること
○ こう空写真を見る。	しらべかた

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地の高いところやひくいところは、町のどのあたりに広がっているか。</li> <li>• 大きな川は、町のどのあたりを流れているか。</li> </ul>	○ 白地図に山地、平地、川に分けて色をぬる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 土地のつかいかた</li> <li>• 店、工場、住たくの多いところ</li> <li>• 田・畑・くだもの畑のようす</li> <li>• おかや山地のようす</li> </ul>	○ 地図や写真を見てしらべる。
	○ 遠足に行ったり、家の人と出かけたりする。
	○ しらべたことは、川内町の白地図にきこうや色分けでまとめる。



川内町は、川上・西谷・東谷の三つの校区こうくからなりたっています。

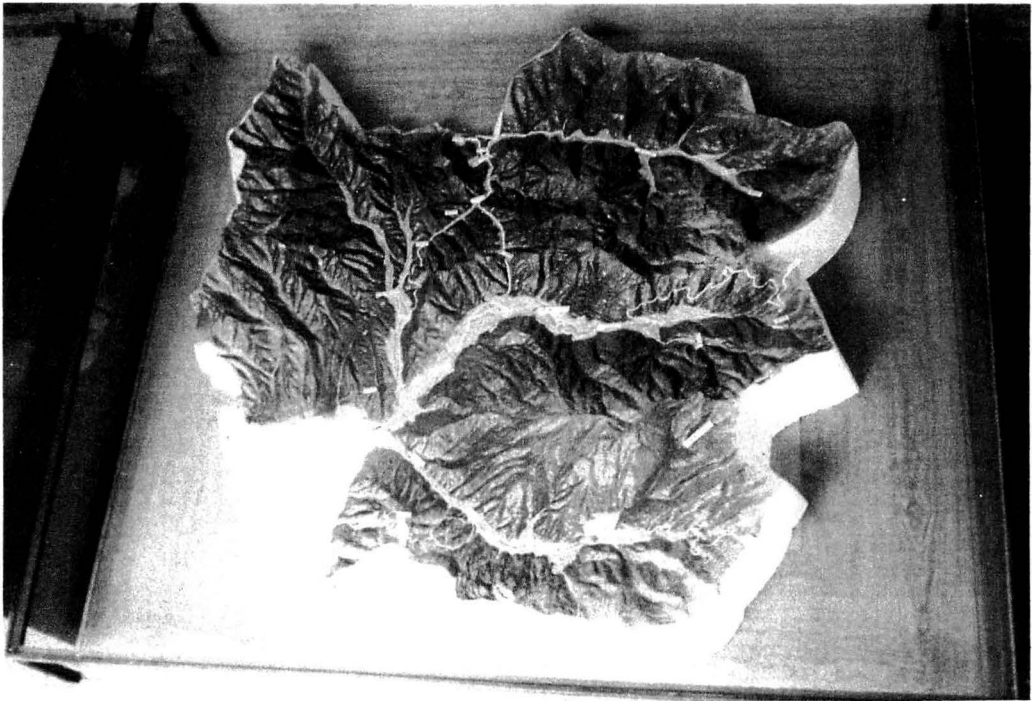
平地は、町の西の方に広がり、川上校区に多いことがわかります。西谷・東谷校区は、川の左右さゆうに少しの平地があり、すぐ山がせまっています。

川内町は手の平ひらを広げた形をしていて、まんな中には平地が広がり、まわりは高い山にかこまれています。

平地には田が広がり、店や住たく、工場などもあります。

畑やくだもの畑は、平地のまわりの少し高くなつたところに多くあります。

さらに高いところは、杉すきやひのき、松などの森や林になっていることがわかりました。



川内町の立体模型地図

### 三 わたしたちのくらしと商店がい

#### (一) 町内の商店がい

町内の商店がいやスーパーは、わたしたちのくらしと、どのようなつながりがあるかしらべてみましょう。

#### 1 町内の商店がいしらべ

正男さんたちは、町内の人びとが商店がいを利用するのはどのようなときか、町内の商店がいにはどのようなしゅるいの店が多いかしらべてみることにしました。

#### ▼正男さんたちのしらべるけいかく▲

しらべること	しらべかた
○ 町内の商店がいを利用するとき	・ お母さんや近所の人に聞く。

○ 町内の商店がいの店のしゅるい

- ・ はんに分かれて歩いてしらべ、白地図に書き入れる。
- ・ ぜんぶをなかも分けて、グラフにかいてみる。

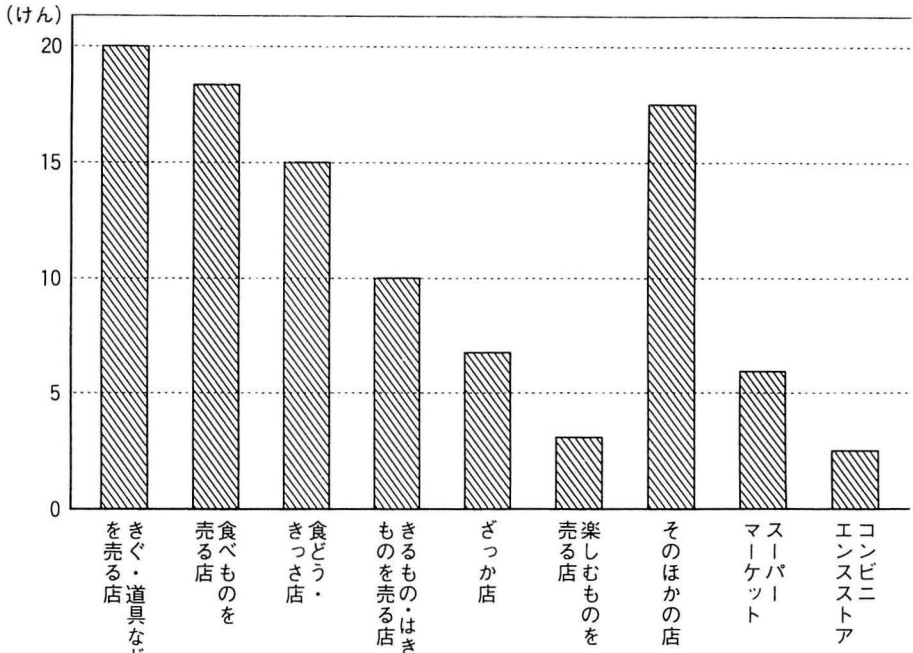
お母さんや近所の人に聞くと、遠くまで買ひものでいけないときなどに、町内の商店がいを利用してることがわかりました。

町内の商店がいは、川上地区にあります。

そこでは、毎日の生活の中ですぐに必要なもの、たとえばきぐ、道具などを売る店、食べものを売る店などが多いようです。

大がたのスーパーやコンビニエンスストアもふえてきました。

町内の商店がいの店のしゅるいと数



(平成6年9月しらべ)

ざっか店は、日用品などのいろいろな物を売る店です。そのほかの店には、じどう車やじてん車・くすりなどを売る店をふくみます。

## 2 商店がいのくふう

正男さんたちは、商店がいの人たちが、お客をあつめるために、どのように力を合わせているのか、商工会のおじさんに話を聞いてみました。

### 商工会のおじさんの話

お店の人たちで話し合って、毎月と年末に大売り出しの日をきめて、みんながいっしょにまとまって新聞のおりこみこう広告を出しています。

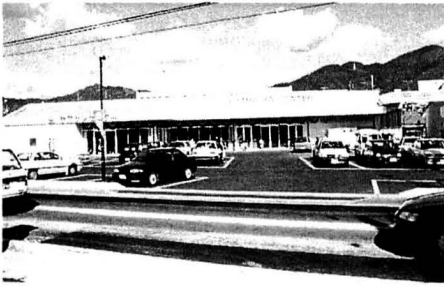
また、夏まつりには、夜店を出したり、万国旗で町をかざったり、花火大会やぼんおどり、ちゅうせん会など、みんなによろこんでもらえるようなもおしをしています。

そのほか、サービス券けんを出したり、よ

その町を見学して勉強したりしています。

商工会のおじさんの話から、商品をたくさん売るために、店の人と商工会の人がいろいろなくふうをしていることがわかりました。

ところで、最近では、広いちゅう車場のあ  
る大がたのスーパーができ、たくさんの方が  
利用するようになって  
います。また、夜おそ  
くまで開いているコン  
ビニエンスストアもで  
き、ますます便利にな  
ってききました。



広いちゅう車場のあるスーパー



夏まつりのようす

3 商店がいとほかの地域とのつながり  
買った食べものやきるもののふくろやほこ  
には、作られたところが書かれています。ど  
こから集まっているかしらべて、地図にあら  
わしてみましよう。





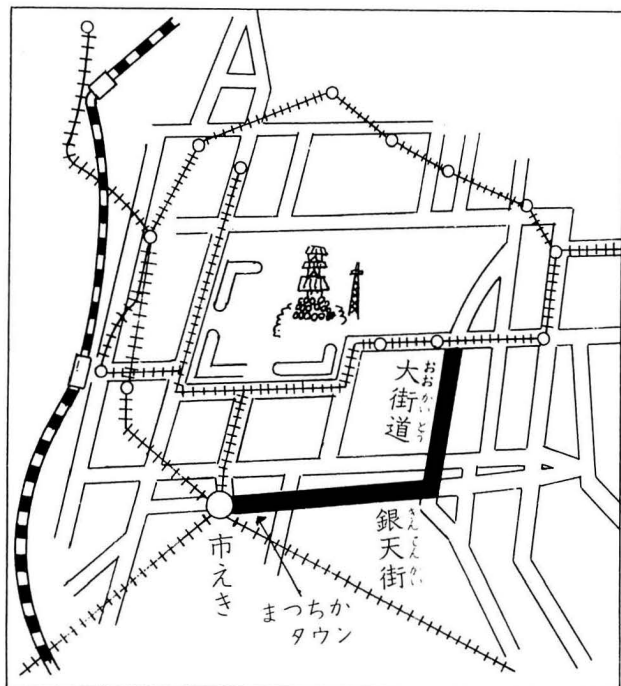




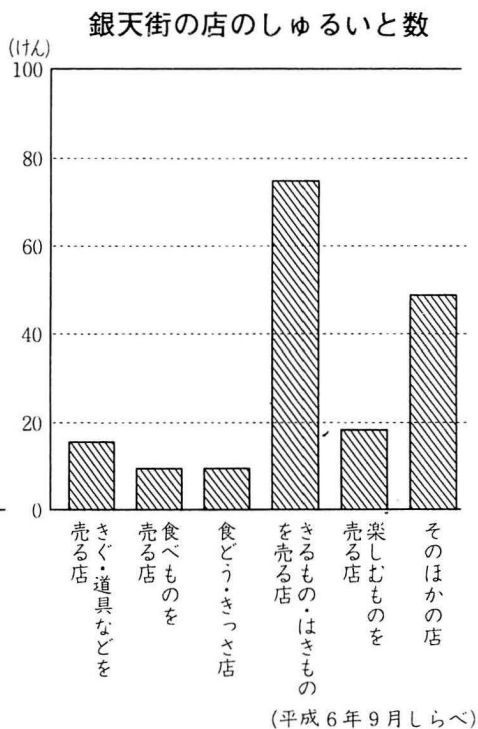
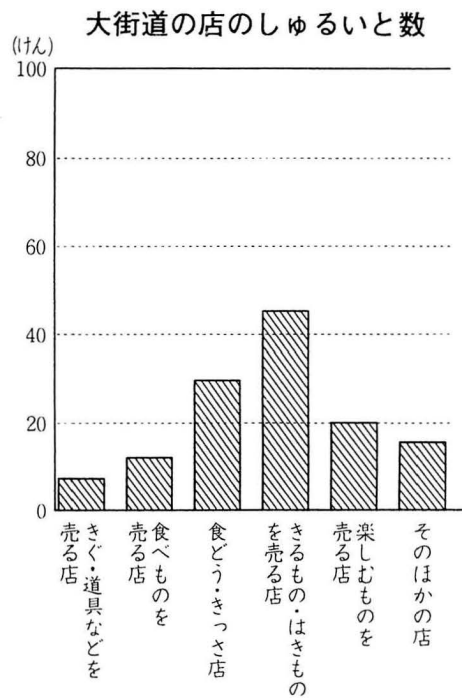
## (二) 楽しい商店がいくつくり

大きな商店がいでは、お客をあつめるために、どのようなふうをしているのかしらべてみましょう。

### 1 松山の商店がいのようす



大きな商店がいのあるところ



次のグラフは、松山の商店がいの店のしゅるいと数をあらわしています。町内の商店がいくつくりをあらわしてみよう。

## 2 楽しい商店がいつくり

おおいどろ  
大街道商店がい

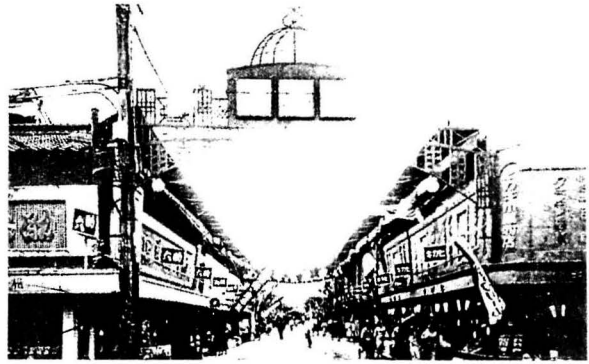
は、アーケードが古くなったり、まわりに大がたの店ができたりしたので、新しくすることになりました。

商店がいでは、

どんな商店がいにするか、お客のいけんきぐなども聞いて、何かい

も話し合いました。そして、次のようなことがきまりました。

- ぜんたいを楽しい買いものひろげにする。とくに四つの広場を作り、もよおしなどができるようにする。



つくりかえる前の大街道商店がい

(愛媛新聞社提供)

- 車道と歩道に分かれていた道を、ぜんぶ車の通らない道にして、ぜんたいにアーケードをつける。

- かざりを入れたはしらを中心にして、カラーほそをし、ホテルのロビーのかんじにする。

- 休めるようにベンチをおいたり、楽しんでん話ボックスをおいたりしてさんぽができるようにする。

- あんぜんにも気をつける。

こうして、下のようい、新しい大街道ができました。



できあがった大街道商店がい

### 3 たくさんのお客をあつめるために

商店がいでは、遠くからも買いいもの客があつまるように、いろいろなくふうをしています。どんなことをしているのか、商店会のおじさんに聞いてみました。

#### 商店会のおじさんの話

商店会で話し合つて、いろいろなもおしをしています。夏には、土曜夜市をしたり、年のくれには、大売り出しをして、ふくびきもできるようにしたりしています。また、市ともきょうりよくしておしろまつりや、松山まつりをさかんにするようになっています。

ほかには、楽しく、ゆっくりと買いのをしてもらえるように、花や木をかざったり、きせつに合わせてかざりつけを

したりします。

ちかごろは、車で来る人が多くなってきたので、ちゅう車場をよういしたり、買いいものをした人には、駐車サービス券を出して、ちかくのちゅう車場におけるようにしたりしています。



年のくれの大売り出し



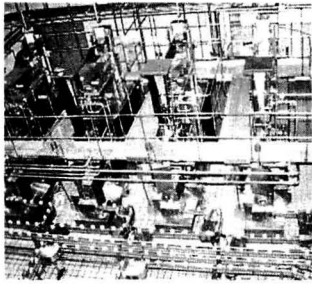
むりょうちゅう車場のお知らせ

## 四 土地にあわせた人びとのしごと

### (一) 川内町の人びとのしごと

#### 1 川内町の人びとがつくっているもの

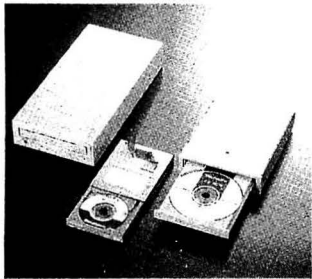
川内町の人びとは、どのようなものを多くつくっているのでしょうか。



牛乳のせいぞう



米づくり



コンピュータの部品  
(CD-ROM)



やさいづくり

正男さんたちの町には、田や畑、工場がたくさんあります。田や畑でつくっているもの、工場でつくっているものなどをしらべてみましょう。

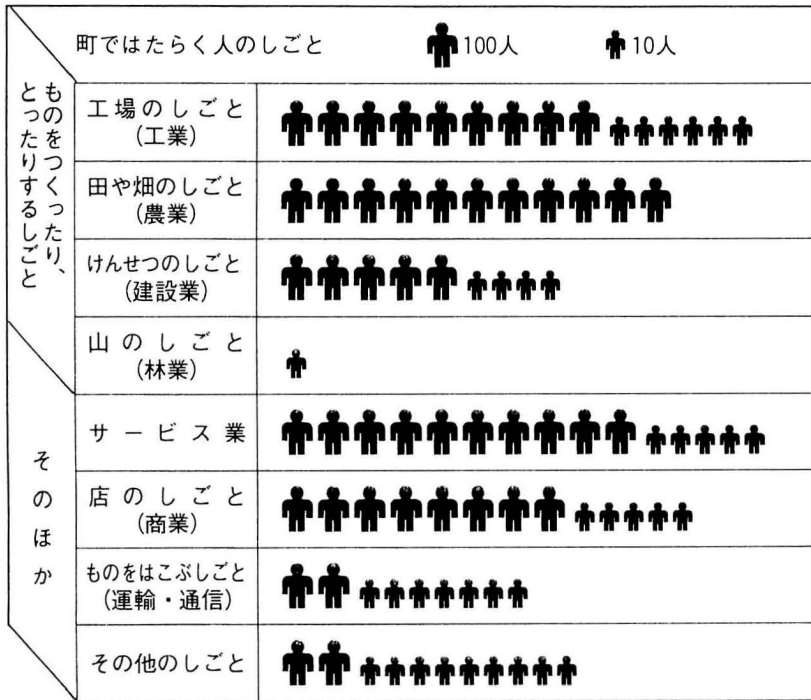
#### ▼しらべること▲

- 田や畑、くだもの畑でつくられているものには、どのようなものがあるでしょう。
- 田や畑、くだもの畑の広さはどうなっているでしょう。
- 土地のようすとどのようにつながりがあるでしょう。(川内町の地図を見てしらべる。)
- 工場はどのくらいあるでしょう。
- 工場ではどのようなものをつくっているでしょう。
- 川内町のとくちょうは何か、みんなで話し合ってみましょう。



## 2 川内町の人びとのしごと

川内町には、どのようなしごとをして  
いる人が多いでしょう。



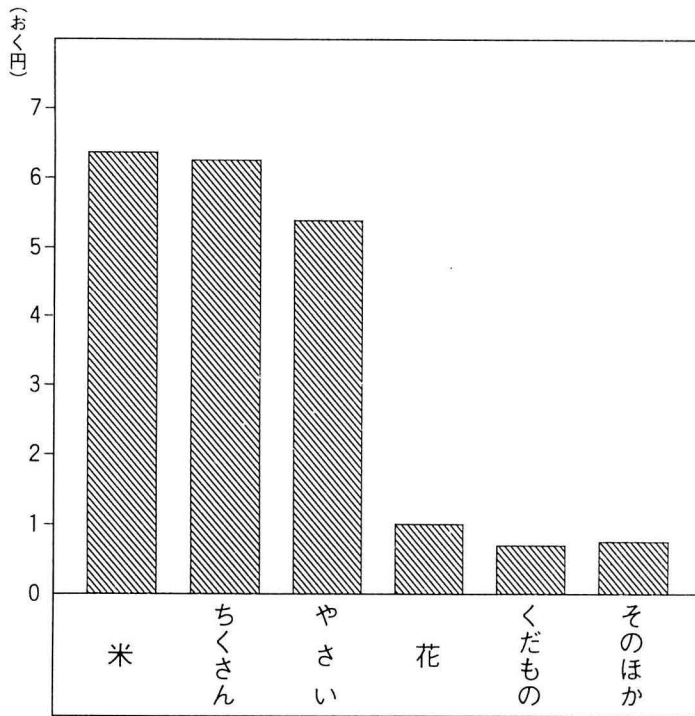
川内町の人々のしごと (国勢調査 平成2年)

川内町では、田や畑のしごと(農業)をする人がいちばん多いことがわかります。つぎに多いのは、工場のしごと(工業)です。店のしごと(商業)やけんせつのしごと(建設業)の数の多いこともわかりました。

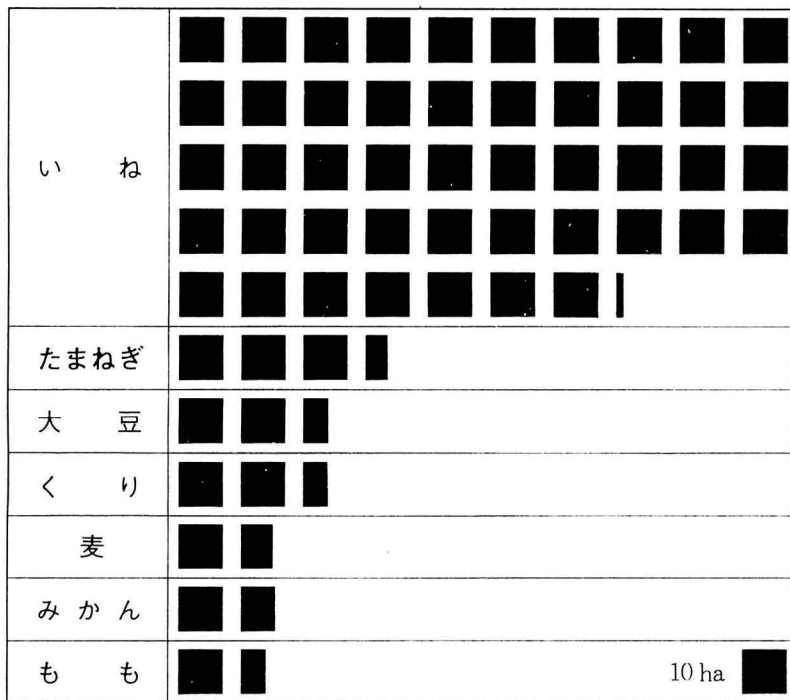
正男さんたちは、川内町のしごとしらべをして、田や畑のしごとをする人が多いことがわかりました。そこで、農家の人は、どのようにくふうしてしごとをしているかしらべることにしました。

### 3 川内町の農業のようす

よし子さんたちは、田や畑でつくっているものや田や畑の広さしらべをしました。



川内町のおもな農産物の生産額 (平成5年しらべ)



川内町でおもなさくもつにつくられている広さ (平成5年しらべ)

川内町では、米ややさいづくりと牛のしいくがさかなことがわかりました。

(二) 農家のしごとのかふう

農家の人たちは、さくもつをたくさん  
つくり、それを売るために、どのような  
くふうをしているかしらべてみましょう。

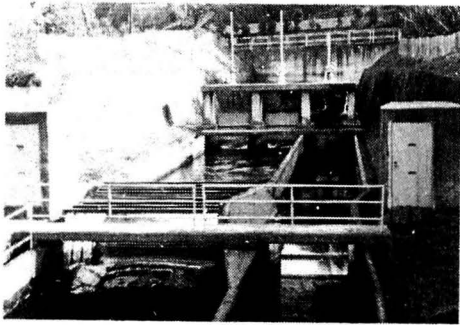
1 米づくりのかふう

(1) 水をひくくふう

よし子さんたちは、田や畑に水をひくために、  
どのようなくふうをしているかしらべました。



ため池 (吹上池)

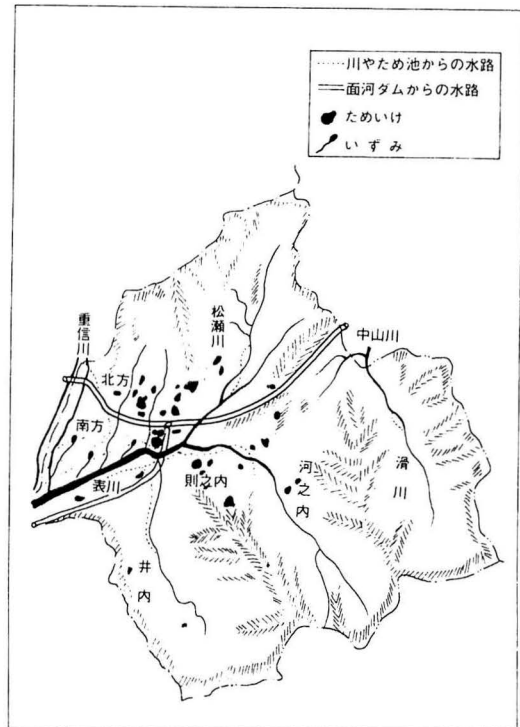


ダムの水 (鳥の子)

農家のおじさんの話

米づくりには、水はなくてはならない  
ものです。農家の人たちは、おかしから  
みんなで力をあわせて、ため池やいずみ  
をほって田に水をひいてきました。

ため池にたくわえられた水は、池のひ  
をぬくと、小川おがわにいきおいよく流れでま  
す。そこから、水のたびがはじまるので

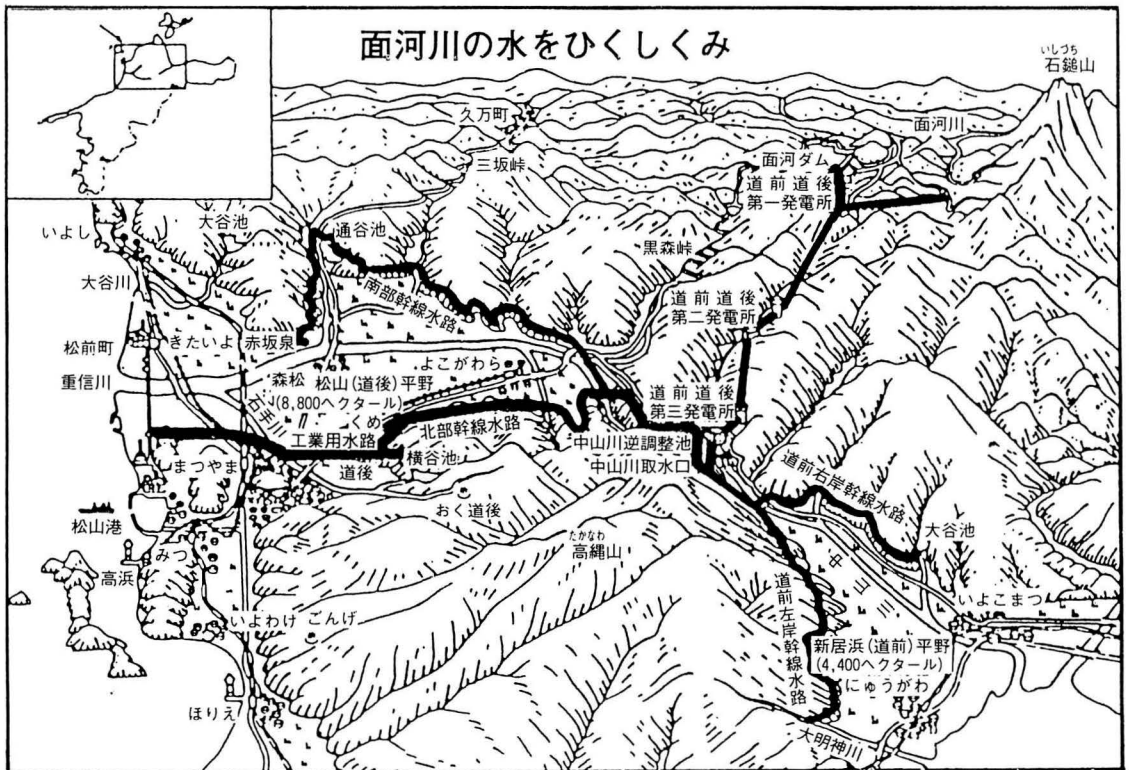


水をひくくふう

す。小川に出た水は、と中であちこちの水路に分けられます。そして、多くの田に水がいきわたるようくふうしています。水は、田の水口でせきとめられ、いねの成育にあわせて、つかわれます。

ちかごろでは、面河ダムの水を使うようになり、日での心配もなく米づくりができるようになりました。

よし子さんたちは、おじさんのお話を聞いて、面河ダムの水が、どのようにして、川内町にきているかしらべようと思いました。



## (2) きかい化のくふう

農家のおじさんの話

むかしの米づくりは、ほとんど人手にたよっていましたが、ちかごろでは、どんどんきかい化がすすめられ、人手があまりいらなくなってきました。

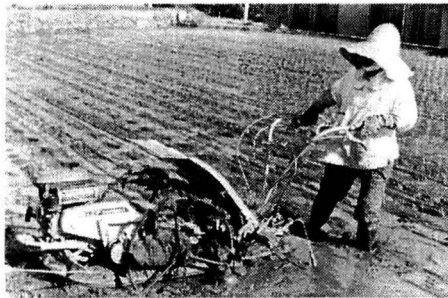
そのため、農家では、米のほかにやさいやくだものをつくったり、農業よりほかのしごとをしたりする家が多くなってきました。

また、農機具は、大がたになるほどねだんが高くなるので、何げんかがお金を出し合ったり、農協からお金をかりたりして、買う人も多くなりました。



バインダー

いねをかりながら、たばにしていきます。



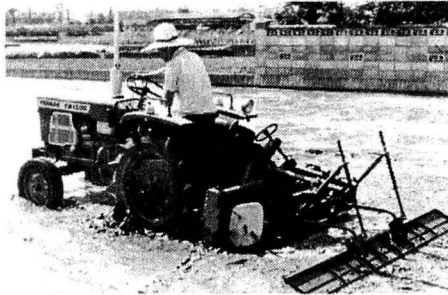
たうえき

手でうえるかわりに、きかいで田うえをするようになりました。



コンバイン

いねをかりながら、だっこくもしていきます。



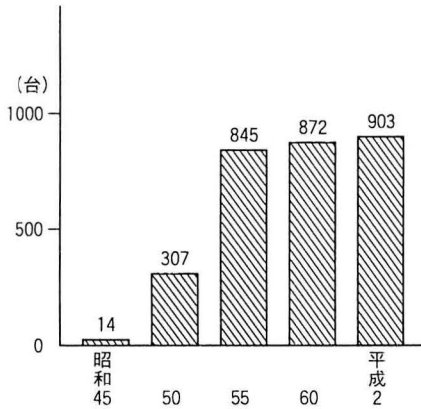
トラクター

ぶひんをかえると、たがやすことも、はこぶこともできます。

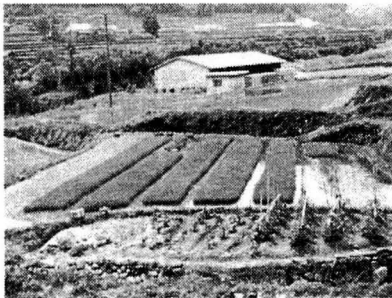
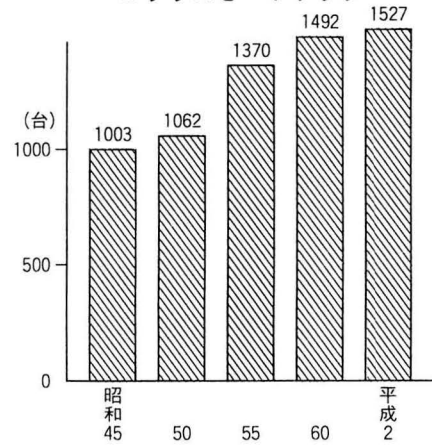
	農家数	こううんき トラクター	田うえき	バインダー	コンバイン	かんそうき
昭和45年	1,516 戸	1,003 台	14 台	70 台	11 台	265 台
50	1,430	1,062	307	645	14	437
55	1,373	1,370	845	865	249	528
60	1,260	1,492	872	758	416	604
平成2	1,104	1,527	903	692	517	620

川内町の農家数とおもな農機具のうまぐ

田うえき



こううんき・トラクター



いままでのなわしろ



はこの中でそだてたなえ  
農協にたのんで、なえをそだてて  
もらう農家がふえてきました。

(3) よい米をつくるくふう

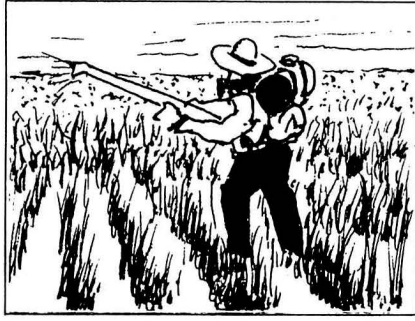
○ よいなえをそだてる

よい米をつくるためには、よいたねをえら  
び、よいなえをそだてるのがたいせつです。  
今までは、田になわしろをつくってなえを  
そだてていましたが、ちかごろでは、はこの  
中にたねをまいて、ビニルハウスでそだてた  
なえを使う農家がふえてきました。



○ しょうどくをする

いねをそだてるうえで、何よりもこまるのは、いねがびょうきになったり、がい虫がいたりすることです。そこで、農家の人たちは、一年に何かいもしょうどくします。



何回もしょうどくをします。



ひりょうをやります。

○ ひりょうをやる

いねがよくそだつように、いろいろなひりょうを、一年に何かいもやります。

○ きょう同で研究する

このような米づくりのしごとは、どの農家も同じころにしています。そのため、どんなくすりをいつまくか、どのようなひりょうをいつやるか、土をどのようにしてこやしていくかなどは、けん 県の のうきょうかいりょうふきゅういん 農業改良普及員や のうきょうきょうどう 農業協同組合の くみあい しどう員が、いろいろとそうだんにのっています。



米づくりの学習会をひらく



農業協同組合

米づくりのけいかく

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
おもなしごと	うらさく •むぎ    •やさい    •花			たねまき 田うえ		(分けつ)		(ほがでる)		とり入れ いねかり		
しょうどく					○	○		○	○			
ひりょう					△(もとごえ)		△(おいごえ)	△(とめごえ)			△(たいひら)	

よい米をつくるために、農家の人は、けいかくを立てて仕事をすすめています。

(4) 米を売るくふう

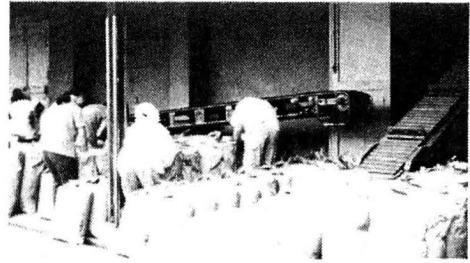
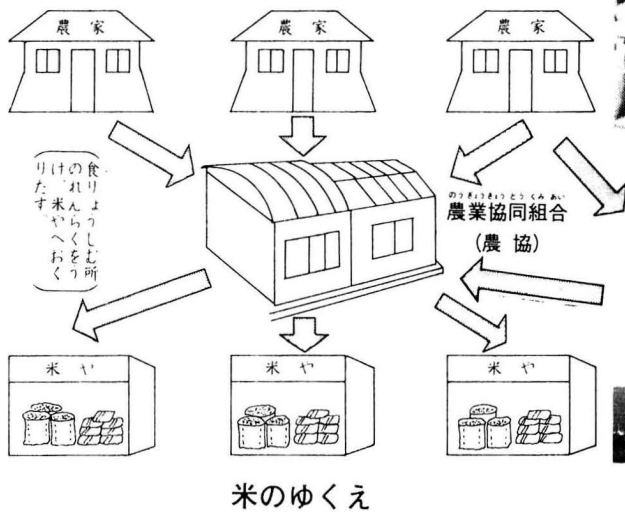
農家のおじさんの話

農家では、よくかんそうさせた米を、しゆるいべつに重さをはかって、ふくろに入れて農協まではこんでいきます。

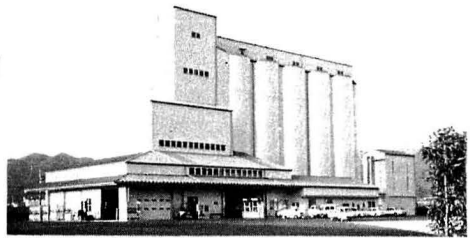
農協では、食りようじお所のかかりの人がよくしらべたうえで等級をきめます。それを国が買いあげてくれます。

国が買った米は、農協のそうこにしまつて、ひつようなときに、食りようじお所のさしずで、お米やさんに売られていきます。

お米やさんでは、新米が入った時にはすぐに、お店の前に広告を出して、お客さんに知らせています。



そうこへつみこむ米



カントリーエレベーター

(いねができる、ここにはこんでかんそう) やもみすりをしてもらう農家もあります。

## 2 うら作のくふう

よし子さんたちは、米のとり入れの終わった田が、どのように利用<sup>りよう</sup>されているかしらべました。

### 農家のおじさんの話

農家の人たちは、米のとり入れが終わるとすぐに田をたがやして、そのあとにつくるさくもつをうえつけます。

きせつはずれのやさいは、めずらしいのでとくに高く売れます。そのため、寒い冬でもあたたかいビニルハウスの中で、やさいの早づくりをする農家がふえてきました。

また、さいきんでは、やさいのほかに花をつくる農家もできてきました。

### 3 有機野菜づくりのくふう

則之内の和田丸には、有機さいばいで野菜を作っている農家があります。農薬やじよそうざい、化学ひりようなどはまったくつかいません。牛、ぶたなどの動物のふんや、かれ草、あぶらかすのように自然のものだけをひりようにつかって、野菜をそだてているのです。



川内町和田丸

よし子さんたちは、どうして有機さいばいで野菜を作るのかふしぎに思ったので、有機野菜作りについてしらべました。

#### (1) 有機さいばいで野菜を作るわけ

##### 農家のおじさんの話

むかしは、どこの農家も農薬やじよそうざいなどはつかっていませんでした。これらをつかうようになって、しごとはとでもらくになり、野菜なども作りやすくなりました。

ところが、農薬などのくすりには、体にわるいものがあることが分かってきました。そこで、あんしんして食べられる野菜がほしいという人のために、むつかしいけれども、体にあんぜんな野菜を作ることにしました。

おじさんたちの野菜作りには、どんなむつかしいことがあるのでしょうか。

## (2) 有機さいばいのむつかしいところ

### 農家のおじさんの話

とくに、夏はあつくてじめじめしている  
るので、野菜を食べてしまうこまった虫  
(害虫)がたくさん出てきます。せつか  
くうえた野菜がぜんぶだめになってしま  
うこともあります。農薬のうやくをつかえば、か  
んたんにころしてしまうことができます  
が、おじさんたちのつくりかたではつか  
えません。手で一ぴき一ぴきとります。  
それに、畑にぎっそうがたくさんはえ  
ても、じよそうざいだからしてしまうこ  
とができます。ですから、手で草をと  
っていきます。とても時間と手まのかか  
るしんどいさぎょうです。



虫に食われたキャベツ



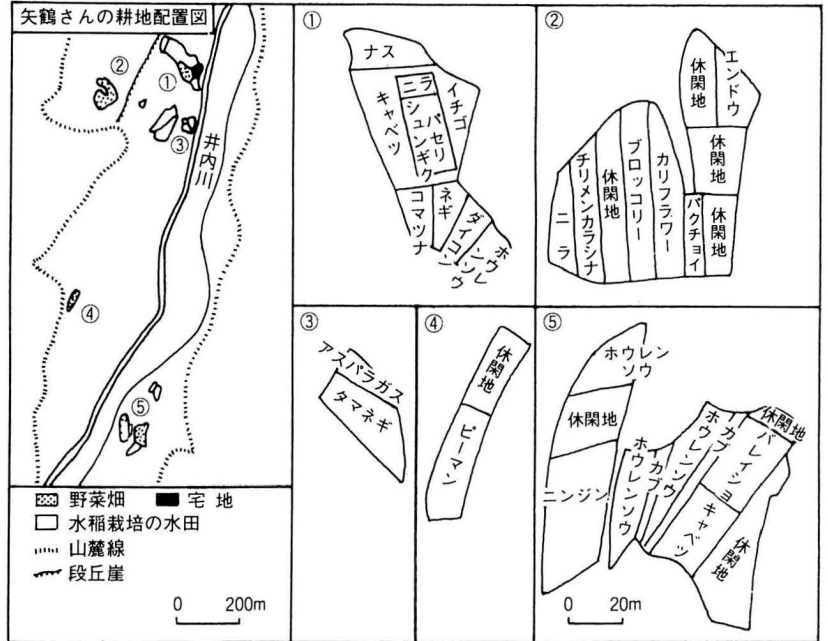
虫に食われたダイコン葉

## (3) 虫から野菜をまもるくふう

虫に野菜を食べられてしまっはたいへん  
です。おじさんたちは、どんなくふうをして  
いるのでしょうか。



畑のようす(3月)



ある農家の畑の使い方(5月)

農家のおじさんの話

まず、野菜をまもるためにしていることは、畑の土をよくすることです。そのために、にわとりや牛などのふんをたくさん畑に入れていきます。これらは、野菜がよくできるようにひりょうになるだけでなく土をよくするのです。土がよくなると、害虫を食べてくれる土ぐもなどのよい虫(益虫)がふえるのです。野菜を使ったら、益虫もしんでしまいます。次に、いったねをまくかをよく考えています。たった二日か三日、たねをまくのがおくれたために、野菜がぜんめつしてしまうこともあります。でも、まいた日がよかったら、いくら虫が出てきてもだいじょうぶなんです。





ぶたのふんをひりょうに

また、一つの畑に、なんしゆるいもの野菜を少しづつうえています。虫によって食べる野菜のしゆるいがちがうので、害虫のひがいを少なくできます。それに、夏には害虫がたくさん出てきますから、どんな野菜が虫につよいのかをしらべて作るようにしています。

おじさんたちが作った野菜は、どのようにしてだれに売られていくのでしょうか。

#### (4) 野菜のゆくえ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ミツバ													キュウリ													
ワケギ													カボチャ													
ニシキ													ナス													
チンゲン菜													トマト													
大根													ピーマン													
サラダ菜													オクラ													
こまつな													イチゴ													
じょう菜													はつか大根													
山東菜													カブ													
青シソ													ニンジン													
ミョウガ													コホウ													
菜も													サトイモ													
たから菜													タメイモ													
からし菜													タケノコ													
芽キャベツ													ミョウガ													
レタ													ニンニク													
ビタミン菜													サツマイモ													
パセリ													ジャガイモ													
フロッキー													シイタケ													
カリフラワー													キャベツ													
サニーレタス													ハクサイ													
アスパラガス													ホウレンソウ													
パクチョイ													フキ													
皮エンドウ													ネギ													
インゲン豆													タマネギ													
トウロク豆													赤タマネギ													
スイートコーン													シュンキウ													

おもな野菜の出荷時期

## 農家のおじさんの話

おじさんたちは、作った野菜をしゅうかじょうにあつめます。そして、十二、三しゆるいの野菜で「野菜セット」を作ります。毎月、千五百セットくらい出荷します。だれがどの野菜をどれくらい出すかは、話し合っけてきめます。野菜セットは、ぎょうしゃがけいやくしている人たちにはいたつします。ほとんどは、松山市の人たちにはいたつされています。

出荷する「野菜セット」のないようは毎週少しづつかえています。ですから、いろいろな野菜を作っています。出荷する野菜のしゆるいは、一年間で九十もあります。

野菜セットづくり



でき上がった  
野菜セット

(5月)

ニラ、カブ、ジョウナ、ミツバ、ピーマン、ネギ、ホウレンソウ、キャベツなどが入っている。



### (5) 買う人たちとのつながり

おじさんたちの野菜を買う人たちは、農菜をつかったりしようどくをしたりしないあんな野菜を食べたいという人たちです。この人たちにあんしんして食べてもらうためにどのようなふうをしているのでしょうか。

## 農家のおじさんの話

おじさんたちの野菜を買ってくれる人たちは、ときどき作っているようすを見にやってきました。畑を見てもらうと、農薬などをつかっていないことがわかってもらえますし、おじさんたちのくろうもわかってくれます。

また、いろいろなこうりゆう会をしておたがいになかよくなるようにしています。そして、野菜を出荷するときには、作った人の名前を紙に書いて野菜につけています。おじさんたちは、「顔の見える野菜」といっています。作った人がわかると、とてもあんしんできます。

## (6) よい野菜をつくるために

農薬などをつかわずに野菜を作るのはとてもむづかしいのです。今よりも害虫のひがいを少なくして、よい野菜を作るために、同じようにどりよくしている人たちとべんきょう会をしたり、せんもんの先生に教えてもらったりしています。



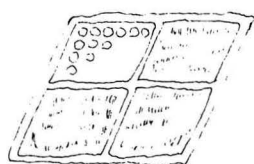
しょうひ者とのこうりゆう会



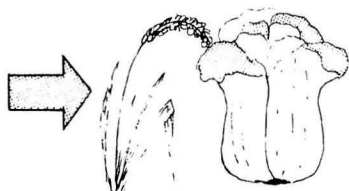
べんきょう会

参考資料（東温高校地域研究部「川内町和田丸の有機野菜の栽培」  
篠原重則先生指導）、図、写真は同研究部より使用させていただきました。

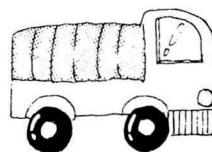
## 米づくりのくふう



土地  
(田やはたけ)



さくもつ  
(米・やさい)



売る

### 農家や農業協同組合をたずねる。

○しらべたこと

- 水をひくくふう
- きかい化のくふう
- よい米をつくるくふう
- 米を売るくふう
- うら作のくふう
- 有機野菜づくりのくふう

### 農家の人びとはどのようにくふうしてしごとをしているか。

- 水をひく      ため池・いずみ → ダム・用水路<sup>ろ</sup>
- きかい化      人手 → トラクター・コンバイン
- よい米を作る      よいなえ → しょうどく・ひりょう
- 米を売る      農家 → 農協 → 米や
- うら作      やさい・花・<sup>むぎ</sup>麦
- 有機野菜づくり      体にあんぜんなやさい → 虫からやさいをまもる

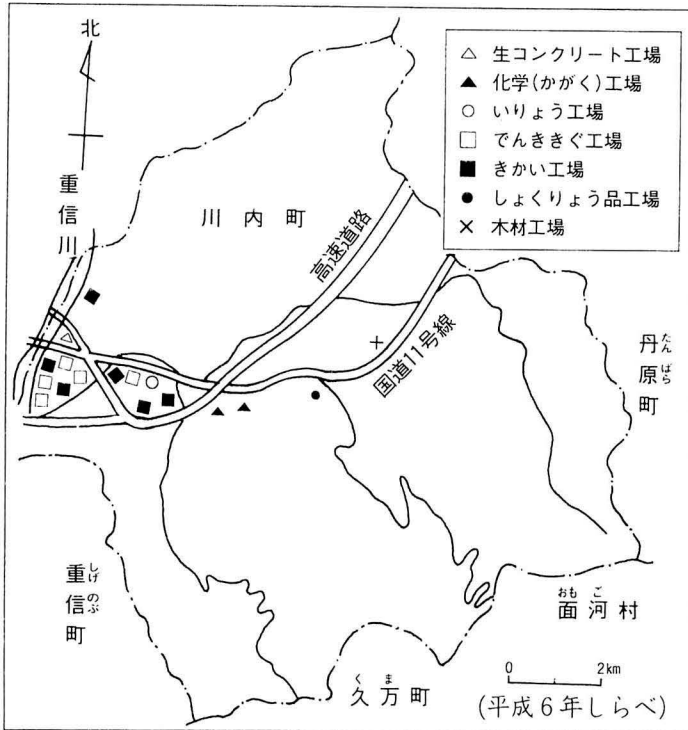
(わかったこと)

- ① 農家の人びとは、じぶんたちのちえを出しあったり、みんなで協力しあったりしながら、米ややさいを作っている。
- ② 農協は、農家の人びとが作ったさくもつをあつめて売ったり、ひつようなしなものを取りよせて農家の人たちに売ったりしている。
- ③ 国や県は、農家の人たちがしごとをしやすいうちに、いろいろな協力をしている。

(三) 工場のしごとのくふう

1 川内町の工場のようす

よし子さんたちは、川内町の工場やそこではたらく人の数をしらべました。



従業員20人以上の工場のあるところ

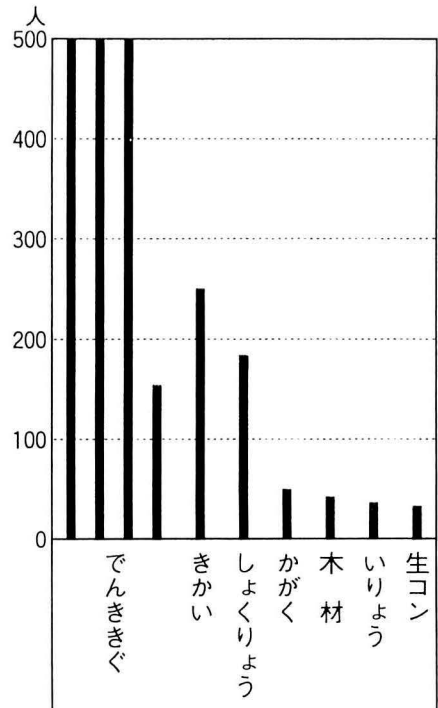
工場は、国道ぞいや町の西のほうに多いことがわかります。また、電気きぐをつくる工場ではたらく人が多いこともわかります。



電気器具工場(松下寿電子工業)



かがく工場(ダイキ)



工場のしゅるとはたらく人 (平成6年しらべ)

## 2 工場のしごとのくふう

工場では、よいしなものをたくさんつくり、それを売るために、どのようなふうをしているのでしょうか。

よし子さんたちは、松下寿電子工業を見学する計画をたてました。

▼よし子さんたちのしらべる計画<sup>けいかく</sup>▲

しらべること	○ よいしなものをつくるくふう
しらべかた	○ 工場を見学して、しらべる。 ○ 見てくること ・ はたらく人のようす ・ コンピュータの部品をつくるじゅんじょ

- |                |   |
|----------------|---|
| ○ げんりょうのかい入れかた | ○ つくったものを売るくふう                              |
| ○ 聞いてくること      | ・ ざいりょうの集めかた<br>・ はたらく人の集めかた<br>・ しなものの売りかた |

よし子さんたちは、松下寿電子工業をたずねて、おじさんからコンピュータの部品がでるまでについて、お話を聞きました。

### おじさんの話

コンピュータの部品をもっとくわしくいうと、コンピュータ（パソコンなど）に取りつけるシーディ ROM（CD-R OM）というコンピュータのメモリー（きろく・ほぞん）そうちのことです。これは、コンピュータにないぞうされて使われています。

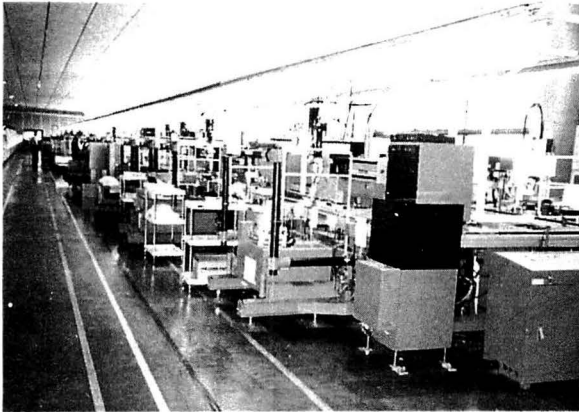


このシーディーロムを一台作るのに、ざいりょうの部品が四百四十こも使われています。松下寿電子工業に協力している会社から、一つ一つの部品やいくつかの部品をくみ合わせた半製品はんせいひんがおくられます。

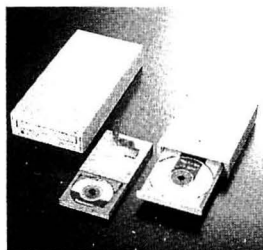
部品には、電気の部品としてシーディーロムに部品をとりつけるささえの部品となる基板きばん、その他アイシー（IC）やソケットなどたくさんあります。

機構きこう（メカ）、構造こうぞう（カバーやケース）の部品として、モーター、ギヤ・レバー、カバーなどたくさんあります。

これらの部品をロボットなどによって自動的にくみ立てていくのです。検査もロボットによって自動化されています。



ロボットによる組み立て

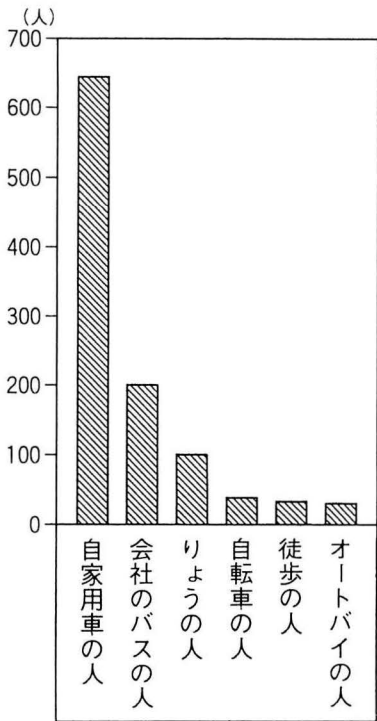
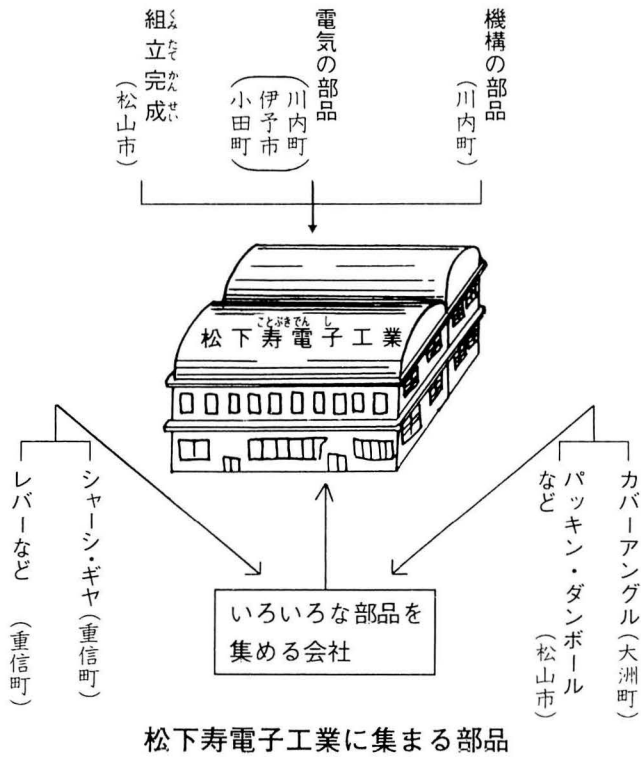


シーディーロム(CD-ROM)

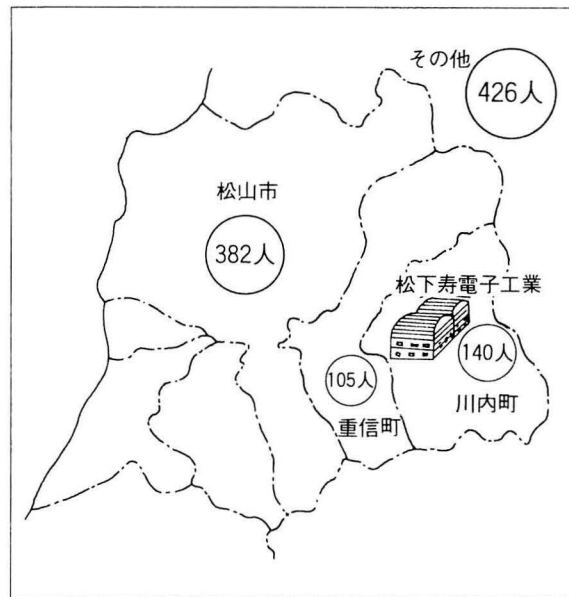
こうして、何か所ものくみ立てロボットの所をとって一台のシーディーロムがしががります。

一台のシーディーロムができあがるのに、二十人ほどの手を通して、十八分ほどかかります。一日に一万六千台のシーディーロムをつくっています。

よし子さんたちは、コンピュータの部品をつくるお話を聞いてみると、そのざいりようは、どのようにして集めるかぎもんに思いました。そこで、さっそくしらべてみました。



松下寿電子工業へはたらきにくる人(平成6年9月1日しらべ)



松下寿電子工業ではたらいっている人の住んでるところと人数 (平成6年9月1日しらべ)

川内町の人もたくさんはたらいっていますが、松山市など近くの市や町からもたくさんかよっています。

よし子さんたちは、工場ではたらく人たちがどこからきているかしらべました。



つうきんバス



自家用車のちゅう車場

工場ではたらく人たちは、川内町のほか、重信町、松山市、その他の町からバスや自家用車を利用して、通<sup>かよ</sup>ってきています。工場では、つうきんする人のために、毎日、工場のバスを出して、おくりむかえています。

### 3 つくったものを売るくふう

よし子さんたちは、工場で作ったせいひんを売るために、どことなくふうをしているか工場のおじさんに聞いてみました。

#### おじさんの話

たくさんのシーデーロムをつくつても、これがよい品物でないと売れません。そのために工場では、一つ一つの部品をよくしらべ検査<sup>けんさ</sup>をし、買った人たちが安心してつかえるように、いつも心がけています。

とくに、一台一台の製品<sup>せいひん</sup>は、ていねいに検査して出荷<sup>しゅっか</sup>しています。また、できるだけ安くするため、自動化ラインやロボットなどをとり入れたり、人手が少なくてつくれるようにくふうしたりしてい

ます。

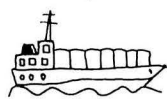
近ごろは、コンピュータがたくさんつかわれるようになってきたので、できるだけ早くおきやくさまにとどけるように心がけています。

つくった品物の多くは、ほとんど外国のコンピュータ会社に売り出しています。そのため、次のようなことを考えていろいろくふうしています。

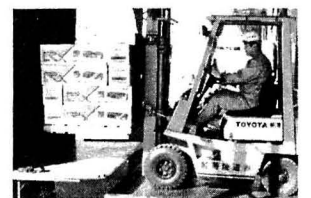
- 安くて世界一よい品物をつくる。
- できるだけ早くおきやくさまにとどける。
- 毎年、新しい製品せいひんをかいはずする。
- せいせいのうのうのよい品物をかいはずする。
- 遠くへおくつてもいたまないようにしつかりしたつつみにする。



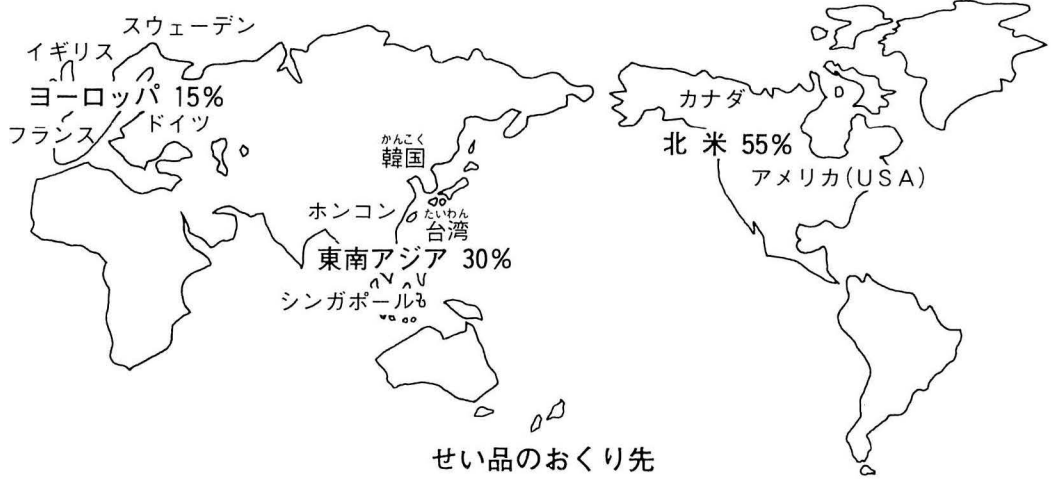
ナショナル大阪工場



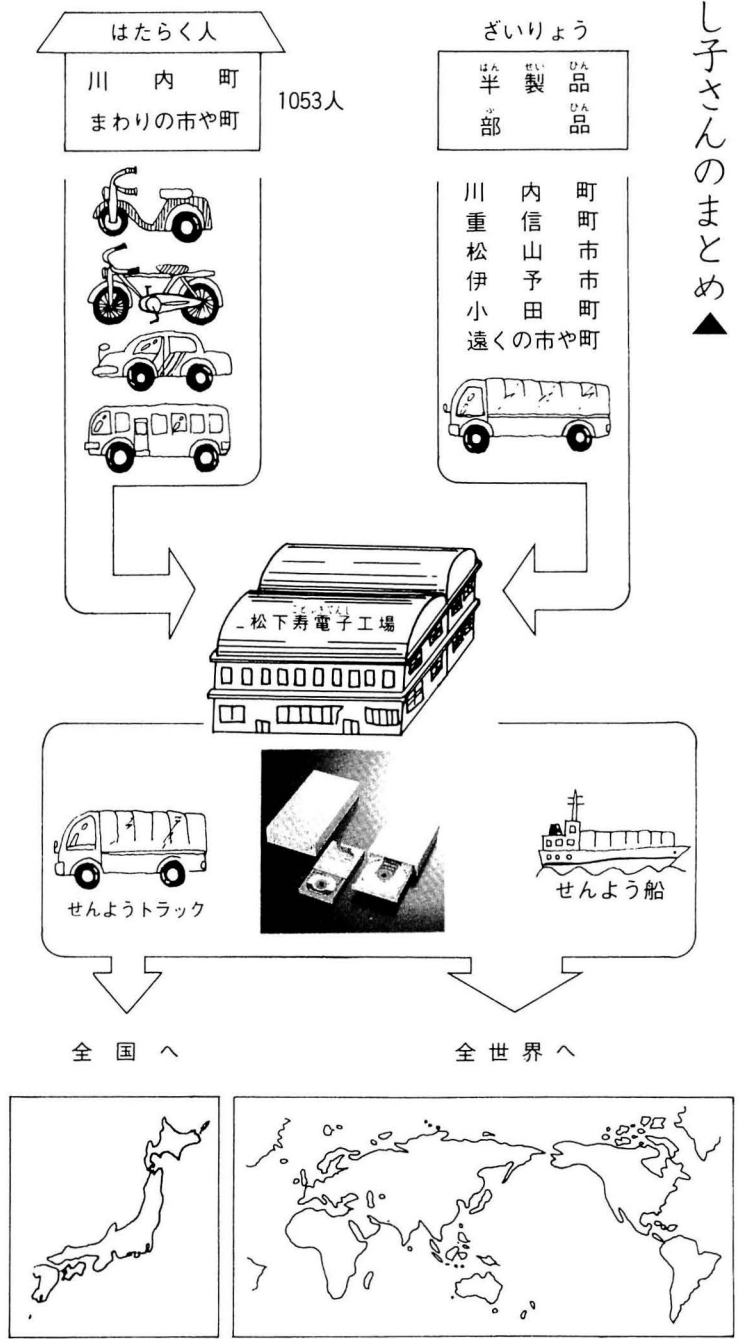
海外



製品のつみ出し



▼よし子さんのまとめ▲



松下寿電子工業では、コンピューターの部品を、ロボットなどをつかっているのに  
おどろきました。また、製品をつくるために、多くの会社のきょう力のあることもわかりまし  
た。製品が、日本より外国にたくさんおくり出されていることもわかりました。

◎ 学習のまとめ

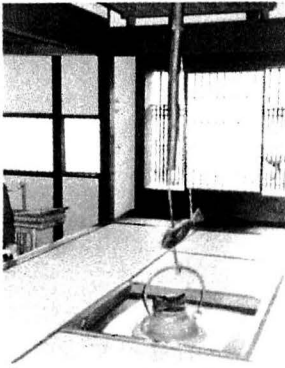
「土地にあわせた人びとのしごと」を学習してわかったことを、カルタや紙しばい、新聞な  
どにしてまとめてみましょう。

## 五川内町のうつりかわり

### (一) むかしのくらし

古い道具をさがし、それを使っていたころの人々のくらしをしらべてみましょう。

正男君たちは、左のような道具や物を見て、しらべるけいかくを立てました。



いろり



かまど

### ▼しらべるけいかく▲

- 道具の名まえをきく。
- いつごろまで使っていたのか。
- 何に使っていたのか。
- 今の道具と、どのようにちがうか。

○ しらべたことをもとにして、古い道具を使っていたころの人びとのくらしのようすを話し合いました。

### 1 むかしの農作業のうさぎょう

東谷校区の和夫君は、八十才になるおじいさんから、むかしの農作業のようすを話してもらいました。

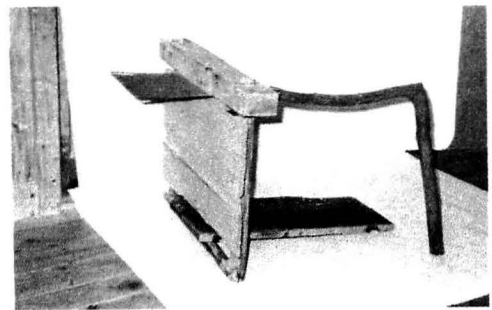
農業のうぎょうのきかいは何一つなかったので、牛や馬がたいせつなはたらきをしました。それでも田や畑の仕事しごとはとてもほねがおれました。

田植えは「じょうぎ」という道具に合わせて、一本一本なえを手でうえたし、農薬のうやくがなかったので、草とりなども、夏の太たいようのてりつける田の中に四つばいになって一日中したものです。

また、とり入れの時は「せんばこき」でもみを少しずつこぎおとすのですから、今の何十ばいもの手間てまがかかり、家族かぞくそいう出で何日もかかりました。子どもも一週間くらい、学校を休みにして、仕事の手つだいをしたのです。



田うえ



せんばこき

## 2 むかしの学校

川上校区の正男君は、おばあさんに学校のできたころのようすを話してもらいました。

### おばあさんの話

川上小学校のもとになった「久米第一小学校」ができたのが、今から百二十年くらい前です。児童数は、およそ二十人で、男の子も女の子も、みんな着物きものをきて、

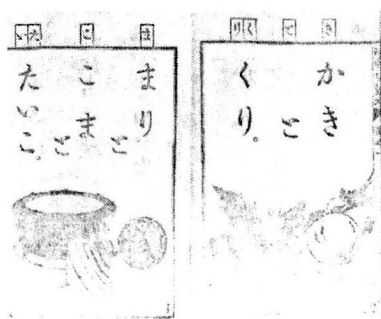


勉強道具を、ふろしきにつつんで通学しました。

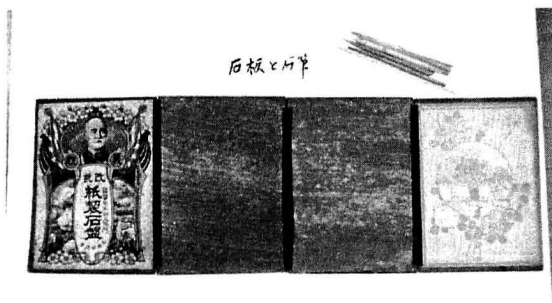
科目は、読み方(今の国語)、書き方(今の習字)、そろばん(今の算数)がおもで、「せきばん」(今のノートにあたるもの)と、「せきひつ」(今のえんぴつにあたるもの)を持ってきて、書いては消し、書いては消しして、使っていました。家での勉強も、くらいランプのあかりをたよりに、本を読んだり、字を書いたりしたので、とてもつかれました。



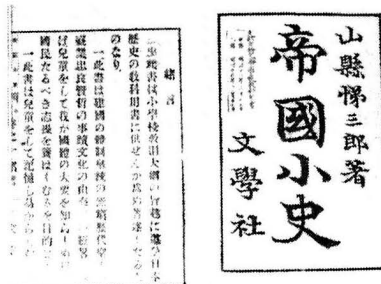
明治のころの小学生



明治のころの教科書



石筆・石板



明治のころの高学年の  
社会の本

○ 学習のまとめをしましょう。

○ぼくは、むかしの人々のくらしは、とても不便で、くろうが多かったのだと思います。今のよう便利なきかいや道具がなく、電気もなかったからです。何をして、たいへんな手間と時間がかかったようです。

○わたしは、むかしの学校のことを勉強して、着物や道具がずいぶんちがっていることに気づきました。

学校から帰っても家のしごとがたくさんあって、たいへんだっただろうと思いました。

(二) 町にのこる古いもの

川内町にのこっている古いものをたずね、むかしの町のようにすを、しらべてみましょう。

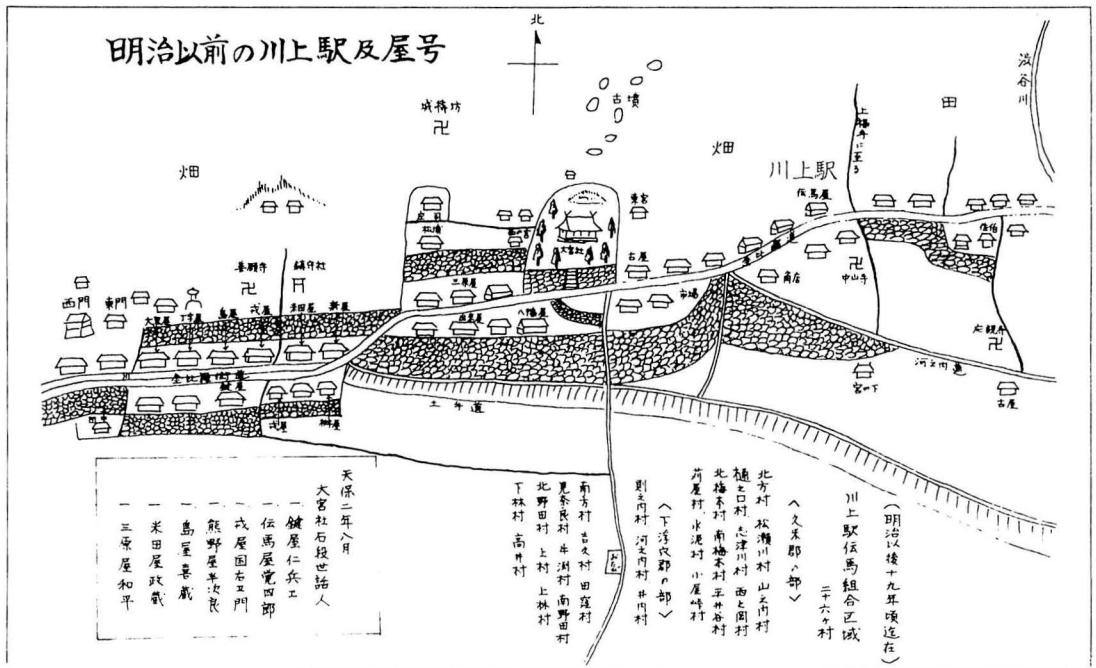
▼しらべるけいかく▲

- どこに、どのような古い物があるか。
- いつごろのものか。
- なんのためのものか。
- むかしから伝わる行事には、どのようなものがあるか。
- なにをねがってそのような行事をするのか。

つぎの写真<sup>しやしん</sup>は、江戸時代（今からおよそ百三十年前）に金毘羅<sup>こんびら</sup>街道の道しるべとして、川上駅（上之町）にたてられたものです。むかし、このあたりには、歩いて旅をする人びとのために、宿屋<sup>やどや</sup>や店がたくさんたちならび、たいへんにぎわっていたそうです。今でも、そのころの宿屋や店の屋号<sup>やごう</sup>が、そのままのこっている家が何けんかあります。



むかし、名越座とよばれたしばいごやのあったところです。右へ行けば河之内、左へ行けば金毘羅さんとかかれています。



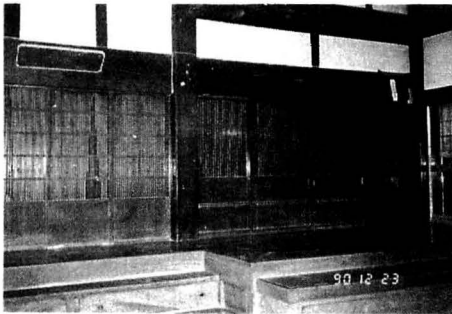
むかしの川上駅の様子をあらわした絵地図です。宿屋や店には「屋号」といって、とくべつの名まえがありました。駅というのは、旅の人がとまったり、荷物の中つぎをしたりしたところです。



ちょうじゃ (金ゆう業)



さいきや (大きな商店)



かぎやの内側



かぎや (大地主)

おじいさんの話

わたしの家は、ずっとむかし、川上で宿屋どやをしていました。そのころは、汽車きしゃやバスもなく、金こんぴらまいりや、お山まいりには歩いて行ったものです。

まい年、七月一日から十日間は「お山いち」といって、石づち山へのぼる人びとでにぎわいました。わたしの宿屋だけで一日に二百人もとまったことがあります。

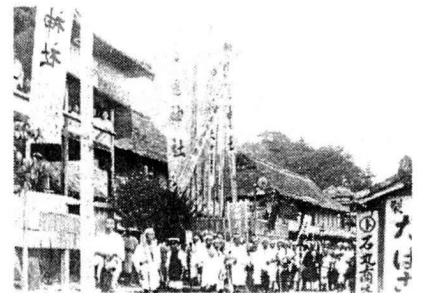
各かくへやのふすまを、ぜんぶはずして、大広間おおひろまにし、夏はふとんもいらないので人びとは、ごろねごろねをしました。ふだんは二人しかいない女中じよちゆうさんも、この時ばかりは、近くのおばさんや、おすめさんに

おうえんしてもらって、二十人ぐらいで  
お客のせわをしてもらいました。

宿<sup>やど</sup>ちゃんは、三食つきで二十五銭<sup>せん</sup>ぐらい  
でしたが、それでも大もうけをして、十  
日間で一年中のお米代<sup>だ</sup>になるくらいでし  
た。

「お山いち」がはじまると、それぞれ  
宿屋の前には、ちようちんをつけ、石づ  
ち神社ののぼりを何十本も立てて、けい  
きをつけたものです。

この「お山いち」も六十年ぐらい前ま  
でつづきましたが、バスや鉄道<sup>てつどう</sup>が通るよ  
うになってさびれてしまいました。



米田屋前の石づちとざん者  
(大正のころ)



今の米田屋前

むかしの人びとは、歩いて旅<sup>たび</sup>をしましたか  
ら、街道<sup>かいどう</sup>ぞいには、旅人にべんりなように、  
一里<sup>り</sup>（やく四キロメートル）をあらわす「里<sup>り</sup>  
程標<sup>ていひょう</sup>」や「道<sup>みち</sup>しるべ」などがたてられていま  
した。

また、旅人が休んだり、美しいけしきを楽  
しみながら、旅をするため、道路<sup>どうろ</sup>ぞいにさく  
らの木をうえたりしました。今でも、その名  
ごりが「さくら三里」としてのこっています。

このほか、旅の安全をねがってたてられた



一里ごとに  
立てられた<sup>りていひよう</sup>里程標



じょう夜とう



安全をねがう  
おじぞうさん

「おじぞうさま」や「じょう夜とう」がところどころにのこっています。



柿の木につるしたいのこづつ

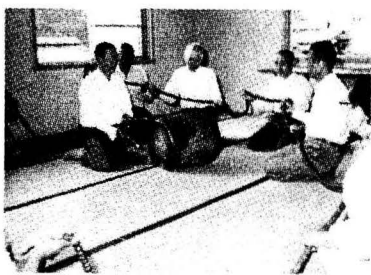
亥の子は、<sup>さくもつ</sup>作物の神様である<sup>だいこく</sup>大黒さんに<sup>ほうさく</sup>豊作をかんしゃしておいわいする行事です。

○おかしからつたわる<sup>ぎょうじ</sup>行事

十一月の亥の日に、自分たちで作った「いのこづつ」で各家をついてまわります。  
「いのこづつ」をかき木につるすと、大つぶの実がつき、<sup>あじ</sup>味もよくなる<sup>つた</sup>と伝えられています。



亥の子



虫ぎとう

百八灯は、吉久の表川堤防でうらぼんの日に行われていきます。これは、川で流れて死んだ人や、ほとけさまの霊をなくさめるためだそうです。



百八灯

虫ぎとうは、念仏をとこなえながらじゆずをたぐり、虫よけを祈ります。



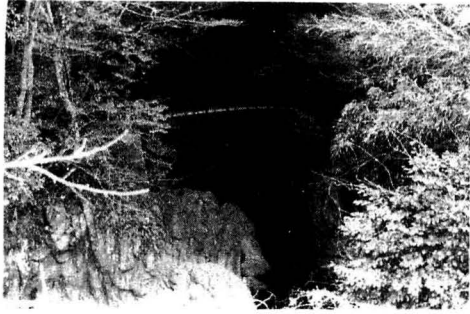
宝泉遺跡



川上神社裏にある古墳

○文化財  
川内町には古くから人々が住んでいました。いちばん古い遺跡は宝泉遺跡で、弥生時代中期（今から約二千年くらい前）のもので、川上神社にある古墳は、今から約千三百年あまり前のものだろうと言われています。このほかにも古いものがたくさん残っています。どのあたりに、どのようなものが残っているか調べてみましょう。





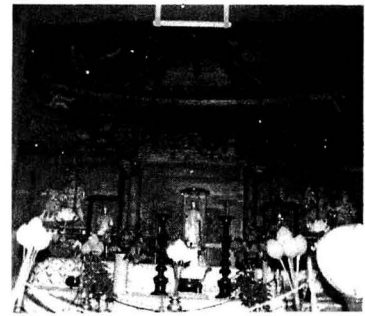
雨滝さん

河之内の音田地区には、  
むかし、何日も雨が降  
らない日がつづく雨  
ごいをしに行った所が  
残っています。



小手ヶ滝城のあと

井内の中野地区には、  
戒能氏のお城であった  
小手ヶ滝の城あとがあ  
ります。これは今から  
約六百年くらい前に造  
られたものだそうです。



医王寺厨子

○ 学習のまとめをしましょう。

この写真の厨子は  
医王寺のお堂にまつ  
られている仏だんで、  
重要文化財になって  
います。

○ 川上の古い家なみから、むかしは、ず  
いぶんにぎわっていたことや、安全に旅  
ができるようにくふうをしていたことが  
わかりました。

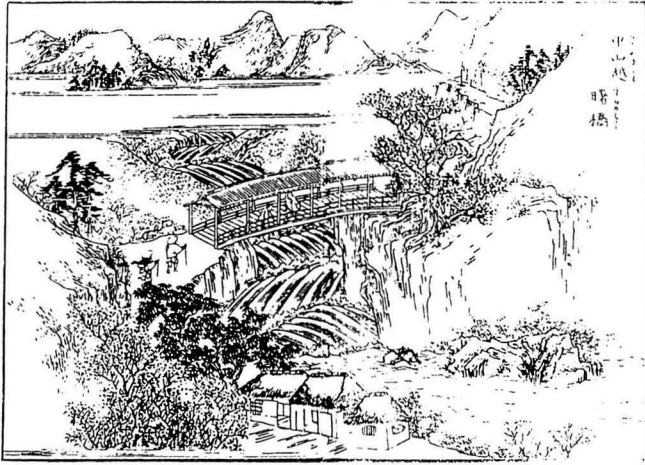
○ 亥の子、百八灯などの行事やおまつり  
がうけつがれていますが、人々の健康や  
安全、豊作への願いやよろこびがこめら  
れていることもわかりました。

(三) 川内町のうつりかわり

わたしたちの町は、むかしからのよ  
うにうつりかわってきたのでしょう。

左の絵を見て、みなさんはどう思いますか。

むかし、こんぴらかいどうにかかっていた「あけぼのぼし」



今の第三発電所ふきん  
(中山川逆調整池のあるところ)

むかし、川上のあたりがにぎわっていたこ  
ろ、こんなめずらしい橋が、川内町にあった  
のです。

1 こんぴら街道がにぎわっていたころの  
ようす

今から百二十年あまり前の明治のはじめご  
ろは、まだ国道はできていませんでした。横  
河原―川上―横灘―鳥越―三軒屋―松皮―松  
皮峠―土谷―千原へと続いている道を、こん  
ぴら街道といい、そのころ人のいきぎが多く、  
たいへんにぎわっていました。

中之町あたりは、明治三十四・五年ごろた  
くさんの宿屋があり、季節によって石づちま  
いりやこんぴらまいりの人が大ぜいとまり、  
たいへんにぎわっていました。(五十五ページ、  
おじいさんの話) また、土谷・三軒屋にも宿

屋があったそうです。

こんぴら街道は、道はばもせまく、土谷から千原へ行く間のとちゅうのようになうす暗くさみしいところもありました。しかし、旅が少しでも楽になるようにと、一里ごとの「里程標」や、行き先をしめす「道しるべ」、夜でも明るいように「じょう夜とう」などが道ぞいにたてられていました。



中之町

分署の坂（むかしの交番があったあたり）



ひんか

宿場としてにぎわったところ



かいどうぞいの道しるべ  
(三軒屋)



じょう夜とう (横灘)



お堂 (道向)

明治三十二年になって、横河原まで鉄道が  
しかれました。

また、明治三十五年には、川内町を通る道  
が、国道三十一号線とよばれるようになりま  
した。

この国道は、県ちよう前—久米—北吉井—  
川上—周桑郡へと通っていました。

川上では、それまでのこんぴら街道を中之  
町までとおったあと、米田屋の前で分かれ、  
市場—天神—滝ノ下—松皮峠を通過して土谷に  
出る新しい道がつけられました。

道はばもこんぴら街道のころは二メートル  
ぐらいでしたが、国道になって、やく四メー  
トルとなり、りっぱな道路になりました。

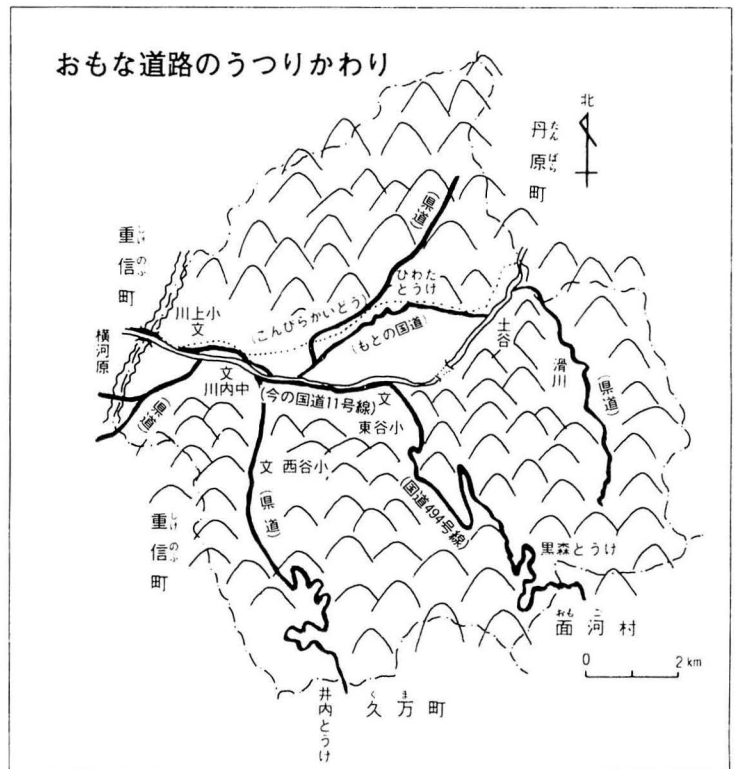
むかしの  
こんぴら街道



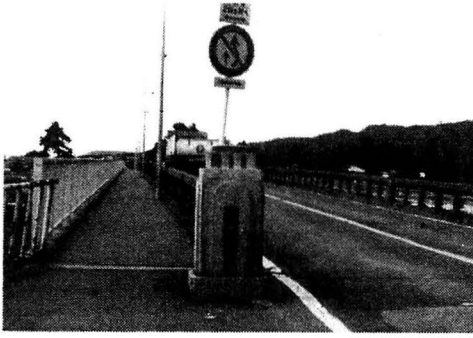
旧国道



今の国道



国道ができたころには、まだ、コンクリートの横河原橋よこがわらばしはありませんでした。木の横河原橋よこがわらばしがかけられたのが、大正八年ごろ（七十年あまり前）で、それより前は大水が出るたびに川どめになり、水がへると川わたしの人たちにせおわれてわたしてもらい、ふだんは河原かわらをあるいてわたっていきました。



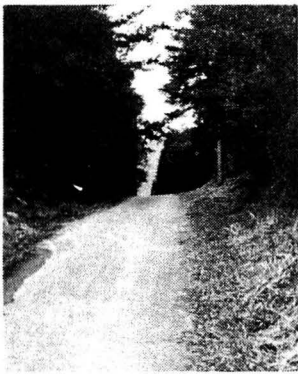
今の横河原橋 (236.6m)

木の横河原橋よこがわらばしができるじんりきしゃと、人力車じんりきしゃが横河原駅えきと川上の町との間をいききして、人びとによろこばれていました。



人力車

それよりすこしおくれて、乗合馬車のりあいばしゃ（客馬車きやくば）が川上と横河原駅えきの間を走るようになりました。きまった時じこくになると、ラツパの音をのどかにひびかせ、国道を行き来していました。



ひわた  
いまの檜皮峠



ひわた  
檜皮峠の客馬車 (大正13年)

。木のはし。(大正八年ごろ)  
。コンクリートのはし。(昭和五年)  
。はばを広げる。(昭和三十年)  
。歩道ができる。(昭和四十八年)

正男さんは、乗合馬車について、三軒屋のおじいさんにお話をききました。

おじいさんの話

わたしは、大正八年ころ、松皮峠にすんでいました。峠には、うどん屋、茶店などがあり、人びとが休むところでもありました。

乗合馬車は六人乗りで、せまい車内に向かいあってすわりました。横河原に車で着いた客をうけて、重信川の河原をわたり、川上から、松皮峠―土谷―千原―湯谷口へと客をはこび、東の乗合馬車にひきつぎました。運ちゃんは、横河原から峠までが十五銭、横河原から湯谷口まで乗ると三十銭でした。

乗合馬車がのどかに通っていたころ、人びとをおどろかせたのが、乗合自動車です。

大正九年、天神の越智誉六という人がはじめたのですが、しばらくして、昭和のはじめには、周桑自動車会社とがっぺいしました。さらに、伊予鉄道会社にがっぺいして、伊予鉄のバスが走るようになりました。

川上駅のみわりや、土谷、三軒屋のあたりはにぎわっていましたが、昭和二年に国鉄松山駅ができ、交通がべんりになると、川上の町もだんだんとさびれていくようになりました。

## 2 松山に国鉄の駅ができてからのようす

昭和二年に高松たかまつから松山まで国鉄が通るようになりました。すると、それまで、松山から川内町を通って高松の方へ行き来していた人びとの多くが汽車を利用するようになり、川上駅や国道ぞいの宿屋も客がへりました。  
ひわだとうげ 松皮峠の乗合馬車のりあいや人力車もとうとう一台もなくなりました。

しかし、わたしたちの生活にかかせない交通は少しずつ、ととのえられるようになりました。昭和のはじめには、横河原橋が、コンクリートのりっぱな橋につけかえられ、しばらくすると、川上と松山の間にバスが通うようになりました。やがて、ハイヤーも走りだしたのです。

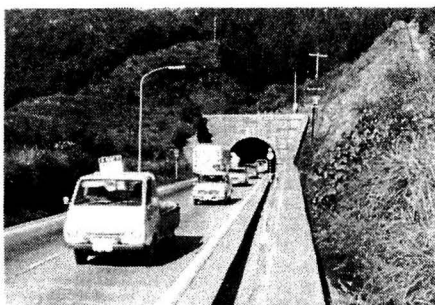
いまから五十年ほど前に、たいへいきやう 太平洋せんそう

という大きなせんそうがおわりました。せんそう中やせんそうのおわったあと、人びとはしごとやくらしのうえで、たいへんくろうしました。

昭和二十七年に、それまでの国道二十四号線が、国道十一号線となり、昭和三十年に川上村と三内村とが合あいし、その新しい国道ぞいに役場もうつり、家なみもどんどんふえていきました。

昭和三十九年三月には、国道が役場前から徳吉とくよし—河之内かわのうちにずいどう—おちで 落出—しゅうそうぐん 周桑郡へとつかけかえられ、今の国道になりました。

道はばも七・五メー

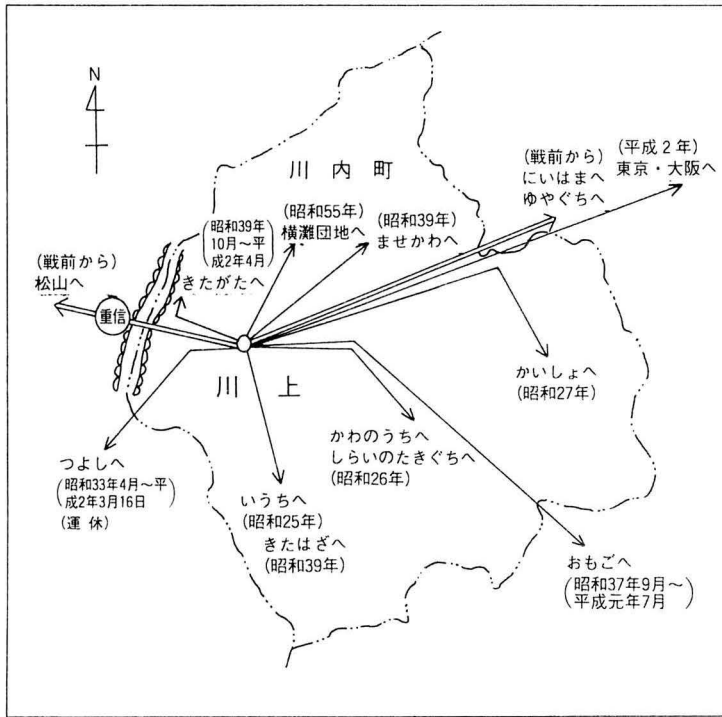


河之内ずいどう (375m)

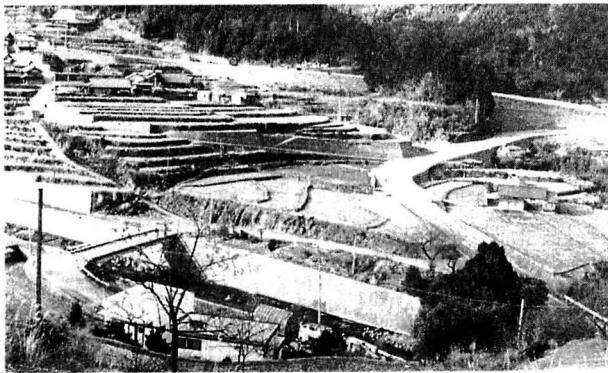


トルのりっぱな国道です。

この国道ができたために、いちが谷と  
落ちの間はそれまで自動車で二十五分かかっ  
ていたところが十分間で行けるようになりま  
した。



現在のバス路線



旧道(左)と新道(右)

(河之内狩場のあたり)

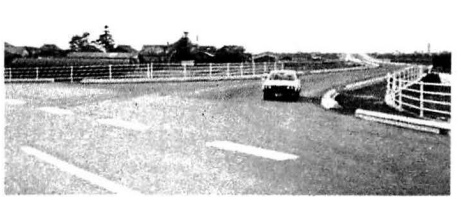
道路を広げた  
記念の石ひ(滑川)



また、川内町を通っている県道や町道もつ  
ぎつぎとほそうされて、石ころが出たりする  
道がなくなってきました。  
このように、道路がよくなるにつれて、バ  
ス路線もどんどん広がっていき、わたしたち  
のくらしもだんだんべんりになり、ゆたかに  
なってきました。



新しくできた  
見奈良大橋  
(昭和57年)



見奈良大橋へ  
つづく町道



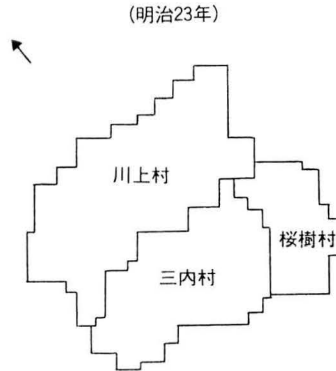
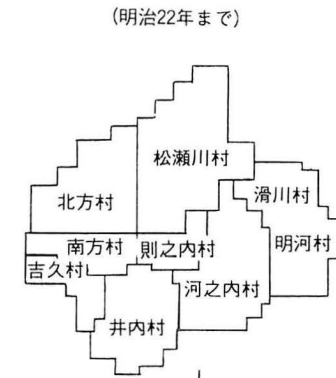
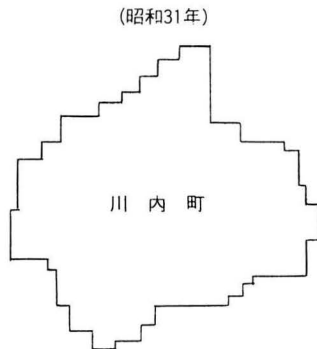
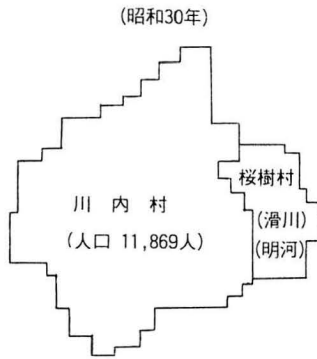
上の道ができ  
る前

みなら大橋と町道

昭和三十年に、三内村と川上村が、がっぺいして、川内村になりました。そして次の年には、滑川<sup>なめかわ</sup>明河地区もいっしょになって、川内町となりました。

こうして、小さな村では、なかなかできなかった仕事も、大きな町になって、できるようになったのです。

〔川内町のまとまるようす〕



○ 平成六年十一月には、<sup>こうそくどろ</sup>高速道路が川内町<sup>かいつう</sup>まで開通し、川内町の<sup>はってん</sup>発展に役立っています。

○ 学習のまとめをしましょう。

○こんぴら街道を通る旅人が多かったころ、川内町はとてにぎわっていました。旅人を運ぶ乗合馬車や乗合自動車、旅人をとめる宿屋、茶店などの仕事をしている人もいたことがわかりました。

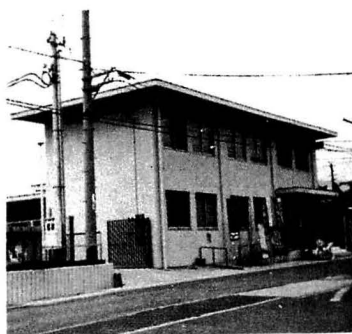
○松山に国鉄駅ができると、川内の町なみもさびれてきました。でも、川内と松山をむすぶ道路やバス路線、周桑郡へと通じる国道、町内のバス路線や町道などが次々ととのえられてきました。それにつれて川内町の人々のくらしもだんだんと便利になってきたことがわかりました。



川内町役場



川内町になる前の川上村役場



今の郵便局



もとの郵便局 (旧国道ばた)



郵便局がはじめてできたところ(宮東)

## 四年 社会科学習の手引き

- 教科書きょうかしょやわたしたちの川内町の本を見て、ふしぎに思ったことや調べてみたいことをメモして、話し合ってみましょう。
- 話し合ったことをもとに、めあてをもちましょう。めあてができれば、予想よそうをたてて、資料しりょうを見たり、近所の人に聞いたりして実際じっさいに調べましょう。
- 調べたことをもとに自分なりにまとめて、発表会をしましょう。
- 友だちの発表を聞いて、自分なりの考えを話し合みましょう。
- 友だちと話し合ったことや友だちの資料を見て、新しいめあてをもったり、自分のまとめをふりかえりましょう。

## 四年 一 住みよい生活

(一) わたしたちのくらしと川内町の水





### 1 川内町の人びとのくらしと水道

川内町では、水はどのように集められ、使われているのでしょうか。

今では、水道のじゃ口をひねるといつでもたくさん水を使うことができます。もし、水道のじゃ口から水がなくなればどうなるのでしょうか。

みなさんは、学校でも家でも毎日たくさん水を使っていますね。では、水道のないむかしは、どのように水を間に合わせてきたのでしょうか。

むかしと今の写真をくらべて気がついたことをメモしてみましょう。

 <p>むかし</p>	 <p>手押しポンプ</p>
 <p>ホームポンプ</p>	 <p>簡易水道</p>
<p>今</p>	

むかしは、茶わんやはがまなどは、川の水であらっていました。また、のみ水とすすぎあらいの水はつるべや手押しポンプなどを使いくんでいました。とくに、ふるの水くみは大へんなくろうのいる仕事でした。

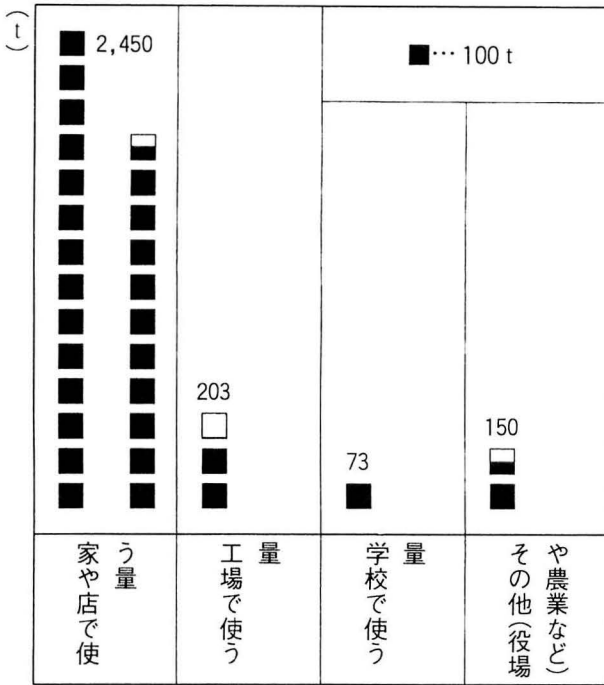
川内町では、昭和四十三年七月一日に、町民のねがいがかんって、簡易水道がたんじょうしました。

## 2 いどと簡易水道くらべ

家の人や近所の人に聞いて、次の表を参考にノートにまとめてみましょう。

いど	つるべ	しくみ	水の質	水の量	水くみの方法
簡易水道					

川内町で1日に使った簡易水道の水の量

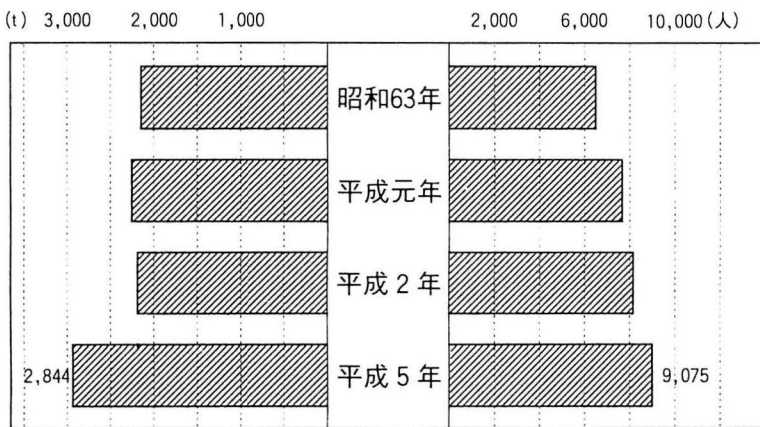


(平成6年度 川内町役場調べ)

水道を使う家では、四人家族で、一日におよそ九百リットルの水を使っています。これは、ふつうのバケツで百八十ぱいぐらいです。水道について調べたいことを話し合いました。

次のグラフを見て、一番多く使っているのはどこでしょう。

1日に使った水の量と簡易水道を使った人数



(平成6年度川内町役場調べ)

川内町全体では、一日に使う水道の量は、六コースの二十五メートルプールで、およそ八ぱいほどの水を使っています。次のグラフのかわり方を見て気がついたことを話し合いました。



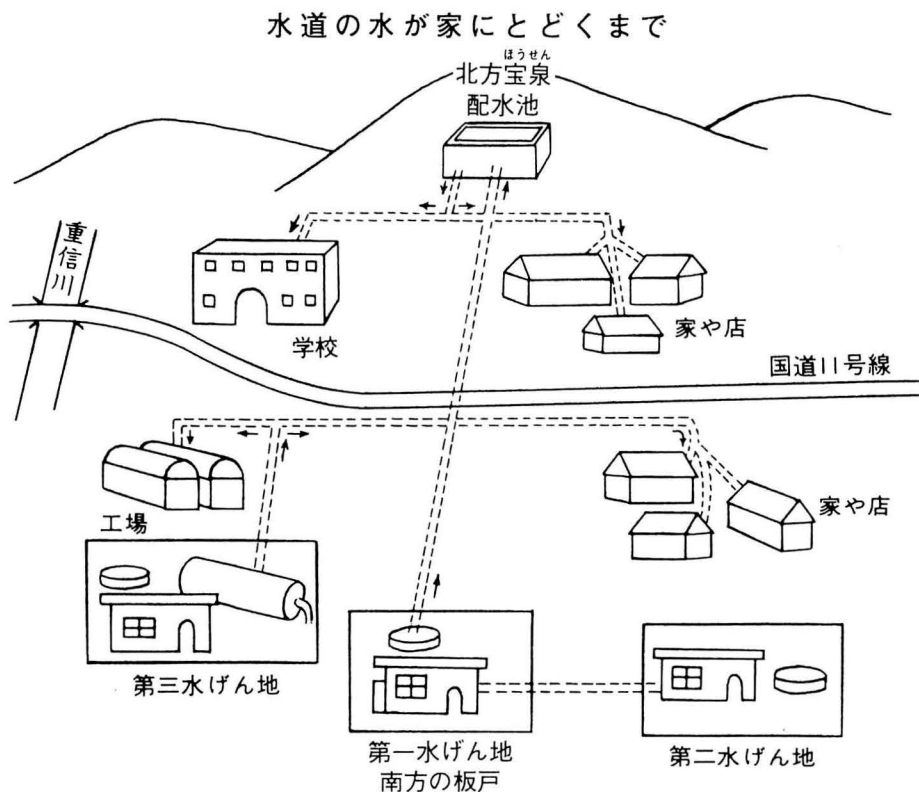
### 3 簡易水道が使える地域ちいきの広がり

川内町の簡易水道は、どのようなしくみで、どのように広がったのでしょうか。

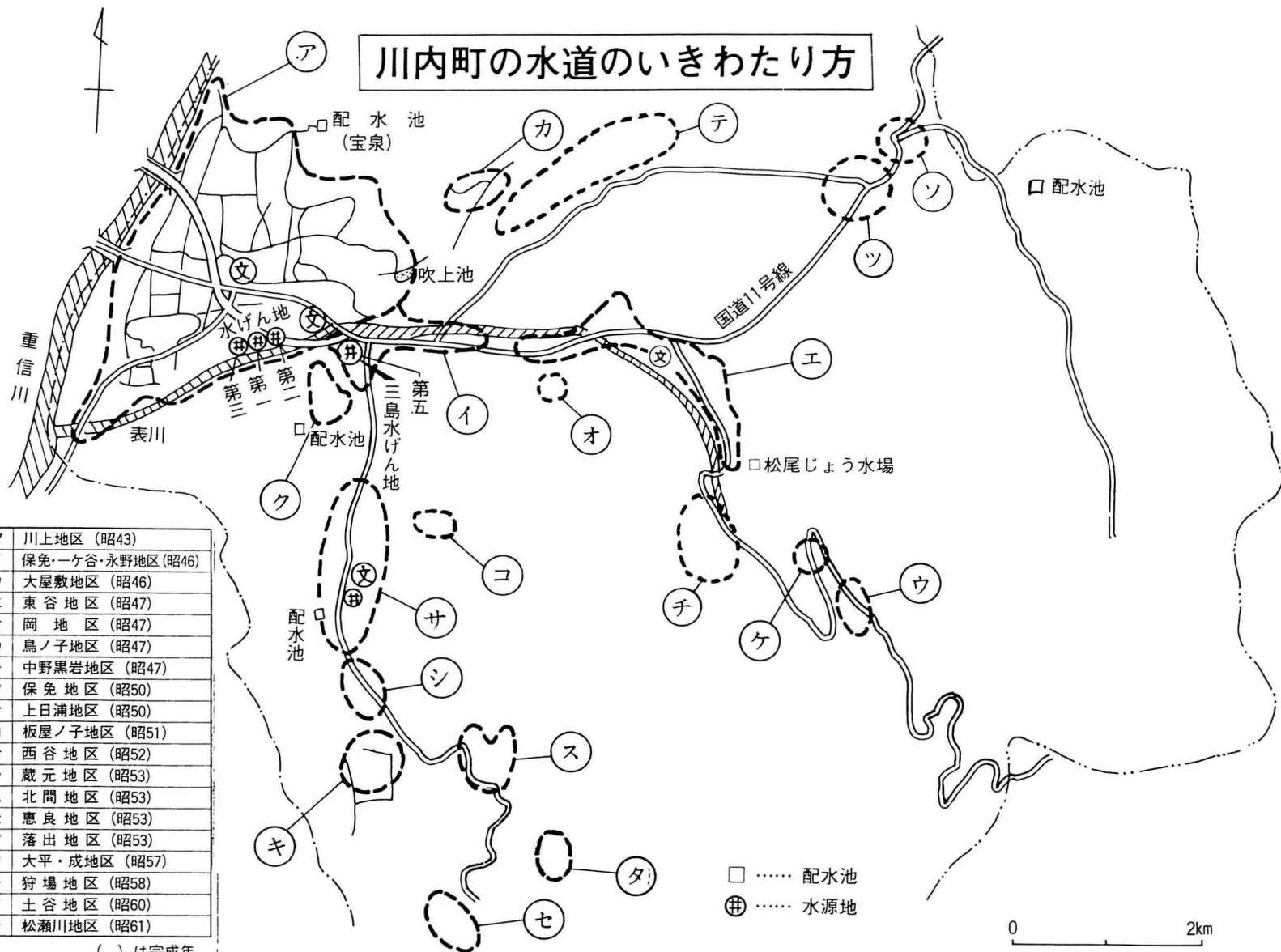
#### ア 簡易水道の広がり

簡易水道がひらかれるまでは、井戸水を使っていたが、水が出なくなったり、よごれた水が出たりするようになりました。そこで、川内町では、町民のねがいを取り入れて、簡易水道を作ってきました。今では、九千二百人ほどの人が一人当たり二百二十五リットルの水を使っています。

川上地区では、どのような順じよで家まで水道がひかれているのでしょうか。次の資料を見て説明してみましょう。水源げん地とは、のみ水や水力発電のもとにするために、水をたくわえる池のことです。



# 川内町の水道のいきわたり方



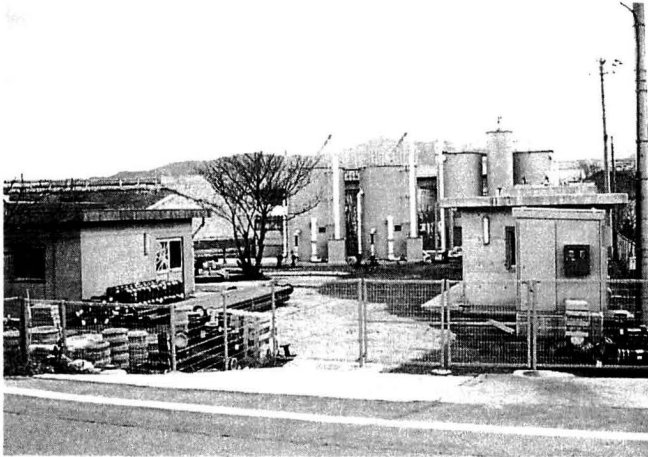
ア	川上地区 (昭43)
イ	保免・一ヶ谷・永野地区 (昭46)
ウ	大屋敷地区 (昭46)
エ	東谷地区 (昭47)
オ	岡地区 (昭47)
カ	鳥ノ子地区 (昭47)
キ	中野黒岩地区 (昭47)
ク	保免地区 (昭50)
ケ	上日浦地区 (昭50)
コ	板屋ノ子地区 (昭51)
サ	西谷地区 (昭52)
シ	蔵元地区 (昭53)
ス	北間地区 (昭53)
セ	恵良地区 (昭53)
ソ	落出地区 (昭53)
タ	大平・成地区 (昭57)
チ	狩場地区 (昭58)
ツ	土谷地区 (昭60)
テ	松瀬川地区 (昭61)

( ) は完成年

イ 浄水場のしくみ じょうすいじょう

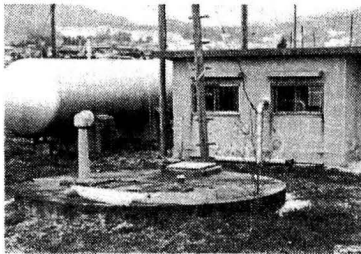
井戸からポンプや圧力タンクによってくみあげた水は、小さなごみを急速ろか機きでとりのぞき、めっきん機を通してきれいな水にされて配水池におくられます。そして、それぞれていの家庭にパイプによっておくられます。

第三水げん地

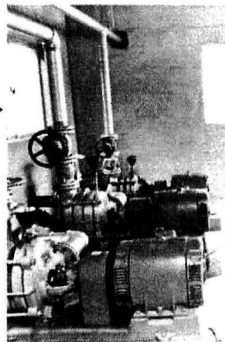


- 第三水げん地は、配水池はいすいちを通らないで大きな圧力タンクあつりょくで水を送っています。

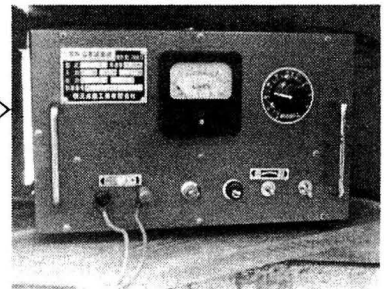
井戸



モーター



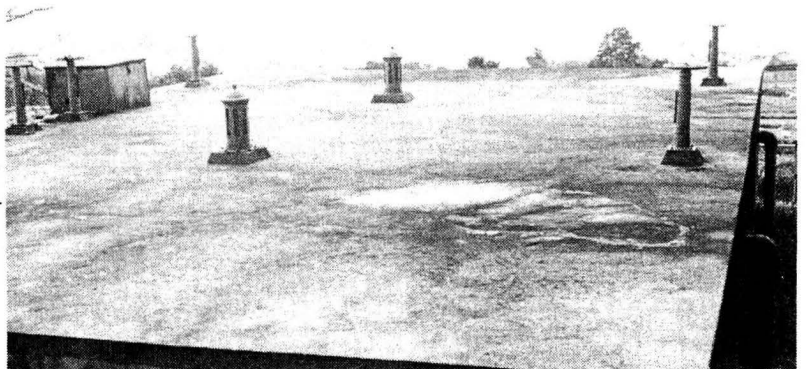
めっきんき



各家庭



配水池



川内町では、計画的に簡易水道が使える地域を広げるとともに古い配水管（水をおくる鉄のパイプ）を新しくするなどして、人びとがこまることなく、いつでもきれいな水が使えるように努力（どりま）しています。

#### 4 下水のしまつ

川内町では、下水のしまつをどのよう  
にしているのでしょうか。

川内町には、下水をしまつする下水処理場（げすいしよりじやう）はありません。家から出る下水のほとんどは、家の回りの水路（すいろ）に流れ出します。そして、表川に流れていきます。

しかし、学校や病院（びやういん）などから出るたくさんの下水をそのまま流すと川の水は大変よごれ、生物がすめないかんきょうになってしまいました。そこで、学校や病院では、浄化そうを使

い、下水をきれいな水にして流すことにしています。最近（さいきん）は、この方法を使ってかく家庭から出る下水を合併浄化（がっぺいじまか）そうに入れてきれいな下水を流すようになってきました。

浄化そうは、次の資料のようなくみになっています。地下にはいくつもの区切り（くぎ）がある大きな水そうをうめています。

第一そうに流れてきた下水は、大きな重いごみのようなものをしずめ、第二そうにおくります。

第二そうでは、バクテリア（びせいぶつ）できれいな水にかえ、第三そうにおくります。第三そうでは、水路に流す前にくすりを使いきれいな水にして流します。

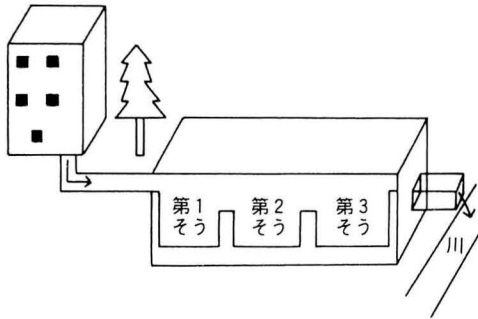
このようにして、きれいになった水は、水路を通過して表川に流れでます。

わたしたちが日ごろ流している下水は、わたしたちにとっても、きちょうな水資源しげんです。川内町では、すてるものしまつをしっかりと、川をよごさないように町の人たちにもよびかけています。

将来しょうらい、町の人口がふえてきたら、生活排水はいすいの処理くわうの工夫ひつちゆうが必要ひつようになってくるのではないのでしょうか。

みなさんも水の大切さをよびかけるポスターや作文をかいてみましょう。

浄化じやうかそうのしくみ



川をよごさないで

## (二) ごみを少なくする運動

便利べんりで、健康けんこうなくらしができるように、川内町では、ごみのしまつをどのようになっているのでしょうか。

### 1 家庭でのごみのしまつ

みなさんの家から出る一週間のごみの種類しゅるいや量を次の資料を参考さんこうに調べてみましょう。

調べること(日づけ)	ごみの種類	ごみの量

### 2 むかしのごみのしまつ

むかしは、ごみを自分の家でもやしたり、畑にうめたりしていました。しかし、くらしが便利になってくると、ごみが大へんふえてきました。また、ごみを川にすてる人もいて、川がよごれるようになりました。

### 3 現在のごみのしまつ

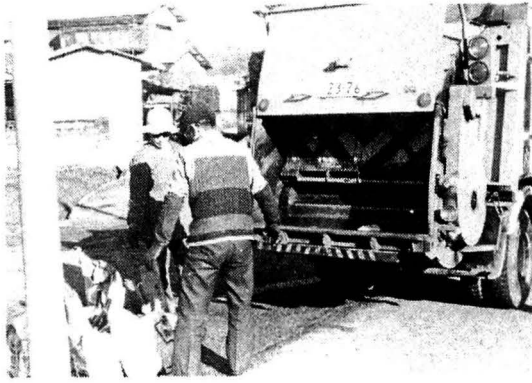
現在、川内町では、ごみのしまつをどのようにしているのでしょうか。

川内町では、ごみのしまつにかかるお金が、平成五年には町民一人あたり約八千円必要になりました。次の写真を見て気がついたことを話し合みましょう。

(ごみは、決められた日の午前八時までに出します。)



ごみ収集場所

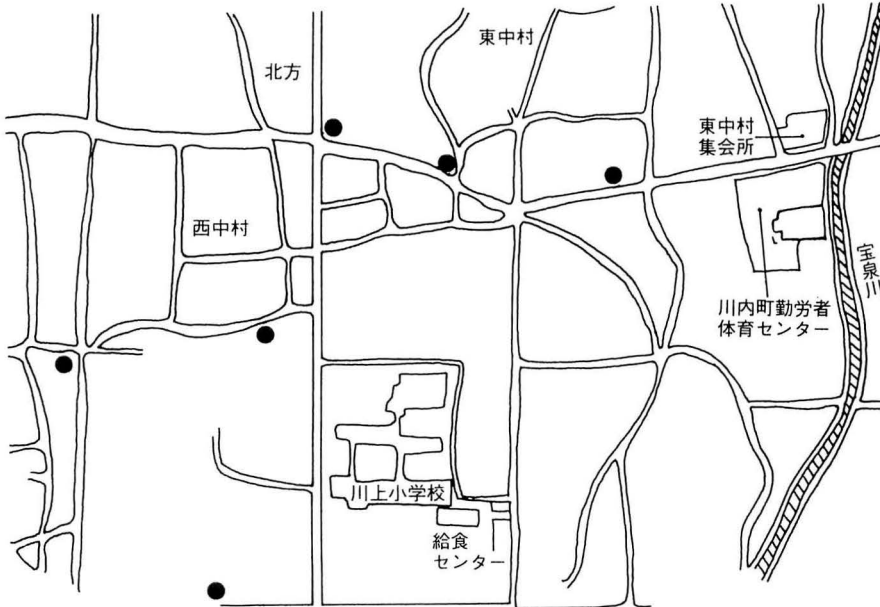


ごみ収集車

### 4 ごみの集め方

現在、わたしたちの家から出るごみは、どのようにくふうして集められているのでしょうか。

川上小学校の近所のごみを集めている場所



● … 集めている場所



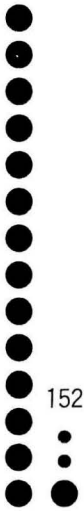

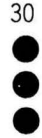
家庭でゴミを出すときに気をつけることを家の人に聞いてみましょう。

川内町では、次の資料のように集めるゴミと集め方にくふうしています。

もえないゴミ	もえるゴミ	ゴミの種類
びん、かん など  ビニル、ゴム など 	台所の生ゴミ  紙 など 	
毎月1回 決まった曜日に	1週間に2回 決まった曜日に	集め方

現在、川内町では、町指定のゴミ袋ごみぶくろを使ってゴミを出すことになりました。それは、ふえ続けるゴミを少しでも少なくしたり、責任せきにんをもって出したり、清掃センターの機械きかいの故こ

川内町で1ヶ月に出るゴミの種類と量

 152	35 	30 	平成六年三月一日 ●…10t ●…1t	
			11 ●	7 ●
生ゴミ	大きなゴミ	スが出る物 もやすとガ	ガラス	金ぞく

障しょうをふせいだりするためです。町指定のゴミ袋ごみぶくろは、有料ゆうりょうで配られています。次の資料は、川内町で一ヶ月に出るゴミの種類と量です。どんなゴミが多いでしょう。

5 ゴミを集める人のなやみとねがい  
 ゴミを集める人たちは、どのようになやみ

やねがいをもっているのでしょうか。次の資料を見て話し合みましょう。

 <p>○毎日のごみをあつかうので休むわけにはいきません。とくに病気には気を付けています。</p> <p>病気をふせぐ</p>	 <p>○毎日重いごみをもち上げるので、こしに力が入ります。そのために病気にかかることもあります。</p> <p>こしがいたい</p>	 <p>○もえるごみを出す日に、あきかんやあきびんを出す人がいるようです。</p> <p>ごみのしわけをしっかりと</p>	 <p>○紙ぶくろなどに入れて、夜のうちに出す人もいます。犬やねこに食いちぎられたりして、たいへんです。</p> <p>しっかりと入れたもの</p>
--	--	--	--

はたらく人たちのなやみやねがい

## 6 清掃センターのしごと

現在では、それぞれの家庭から出るごみは、すべて新しい清掃センターに集められ、もえるごみともえないごみに区別されます。もえるごみはここでやかれ、もえないごみは松山にある業者にたのんで専用の埋め立て地に運ばれます。

川内町では、以前は松瀬川のごみやき場で油を使ってもやしていました。しかし、くらしの中に化学製品が多くなって、もえないごみやもやすと体によくないガスが出るごみもふえて、町民はこまっていました。

昭和四十八年一月に町民のねがいをうけ、滑川に清掃センターができました。そこでは、ごみも種類ごとにわけてしまつができるので大変べんりになりました。

しかし、その後、ごみの量もふえ、滑川の清掃センターだけでは、しまつができなくなりました。とくに、けむりの中のちりや体によくないガスをとる装置そうちも古くなったため、平成二年八月、西谷校区に新しい清掃センターが建てられました。

この新しい清掃センターには、空気の流れでにおいをにがさない装置やけむりの中の小さなちりや体によくないものをとりのぞく装置はいもやした灰を空気中にとばさない装置や水気みずけをとってきれいにする装置など新しい技術ぎゅが使われています。

このようにして、川内町では、たくさんのごみをしまつすることと、地域の人たちにめいわくをかけないようになっています。

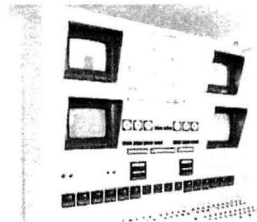
(清掃センターのせつび)

川内町清掃センター



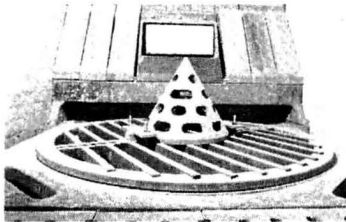
一日に十五トンものごみをしよりできます。右がわには、トラックごと重さをはかる、はかりがあります。高いえんとつも見えます。

中央そうさばん



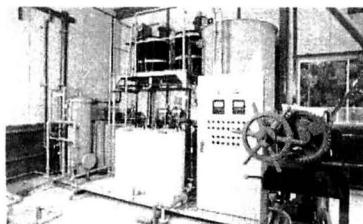
四つのテレビ画面とたくさんおのメーターがあります。ボタンひとつで、きかいをそうささすることができます。

ねんしう  
燃焼そうち

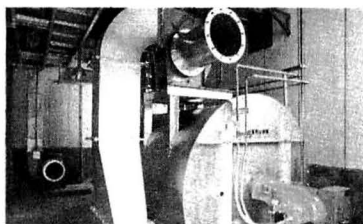


回転かいてんしながらごみをもやすので、よくもえます。灰は下に落ちます。もえるごみにまじっていたびんやかんがのこります。

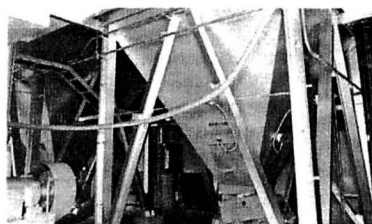
汚水しよりそうち



白えん防止そうち



はい排ガスしよりそうち



ごみをもやすとけむりが出  
ます。けむりの中のこまかい  
ちりや体によくないものを空  
気やくすりを使ってとりのぞ  
きます。

えんとつから、白いけむり  
が出ないように、けむりを温  
ためて、水分をとりのぞくそ  
うちです。

生ごみから出る水、灰をか  
ためるのに使った水、きかい  
をひやすのに使った水などの  
よごれをとりのぞき、きれい  
にするそうちです。

## 7 町民ぐるみの美化運動<sup>びか</sup>

川内町では、町の人たちみんなが、便利<sup>べんり</sup>で  
健康なくらしができるようにごみのしまつの  
仕方をいろいろ考え、町の人たちに協力<sup>きょうりょく</sup>を呼  
びかけています。

古新聞や牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>パックなどの回収<sup>かいしゅう</sup>運動をして、  
リサイクル<sup>さいりよう</sup>（再利用）に役立てているところ  
もあります。また、再利用ということ、生  
ごみをくさらせてひりょうにする（コンポス  
ト）を使う人もふえてきました。

川上小学校では、赤十字の活動の中で、毎  
年春と秋に町内の清掃を行っています。

東谷小学校では、「小さな親切<sup>しんせつ</sup>運動」に加  
入して、クリーン運動をしています。

西谷小学校では、緑の少年隊<sup>たいてい</sup>活動の中で学  
校<sup>しやうへん</sup>周辺や塩ヶ森への登山道の清掃をして、あ

きかんなどをたくさん集めています。

みんなの協力でごみのない美しい町にしたり、ごみを何かに利用できないか考えてみたりしてみることも大切なことです。

ごみをへらすためのくふうを作文やポスターにかいてみましょう。



新聞紙などの再利用



町民ぐるみの美化運動



バスていのそうじ



川のそうじ



道路のそうじ

## 二 安全な生活

### (一) 火事を防ぐ作戦

川内町では、火事を防ぐ活動は、どのように行われているのでしょうか。

火事がおきると、建物や山林などが焼け、大きな被害をうけます。また、人命をうしなうこともあります。では、このような火事を防ぐために、どのような活動が行われているか調べてみましょう。

#### ▼調べる計画▲

調べること	調べかた
○火事を早く消すし	

くみ

- 連らくのしくみ
- 消防署のはたらき
- 消防団のはたらき
- 電力会社やガス会社の人々のはたらき

- 火事を消すしせつ
- 火事の予防
- どのような活動をしているか。

- 消防署の人に聞く。
- ハミリ映画を見る。
- 町の係の人に聞く。

- 校内や地域を歩いて調べる。
- しりょうを見る。
- 家の人に聞く。

### 1 火事を早く消すしくみ

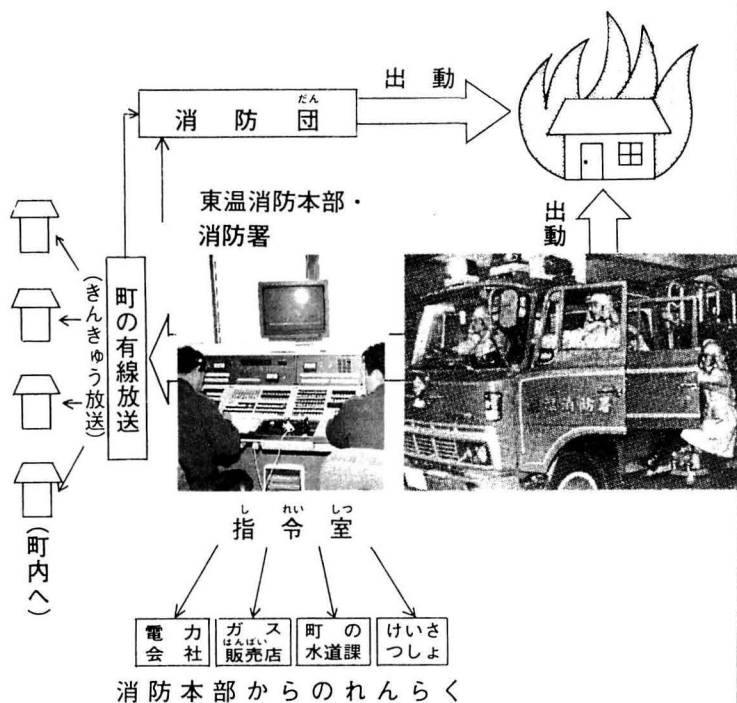
消防署のおじさんの話

火事がおきると、一一九番で、東温消防本部へつながります。消防本部の指令



室からは、消防署やけいさつしよ、電気、ガス、水道など関係のあるところにれんらくが行きます。

また、町内有線放送ともつながり、町内に火災の放送が流れます。それで、町の消防団も出動します。



このようにして、みんなが協力し、火事を消すために努力しているのです。

(1) 東温消防本部・東温消防署

昭和五十三年四月、重信町と川内町の消防や救急活動を行うために、横河原に、東温消防本部・東温消防署がたてられました。

ここには、

- ポンプ車 二台
- タンク車 一台
- はしご車 一台
- 救助工作車 一台
- 積載車 一台
- 救急車 三台
- 指令車 一台
- 広報車 一台



東温消防署署員の勤務交代



はしご車

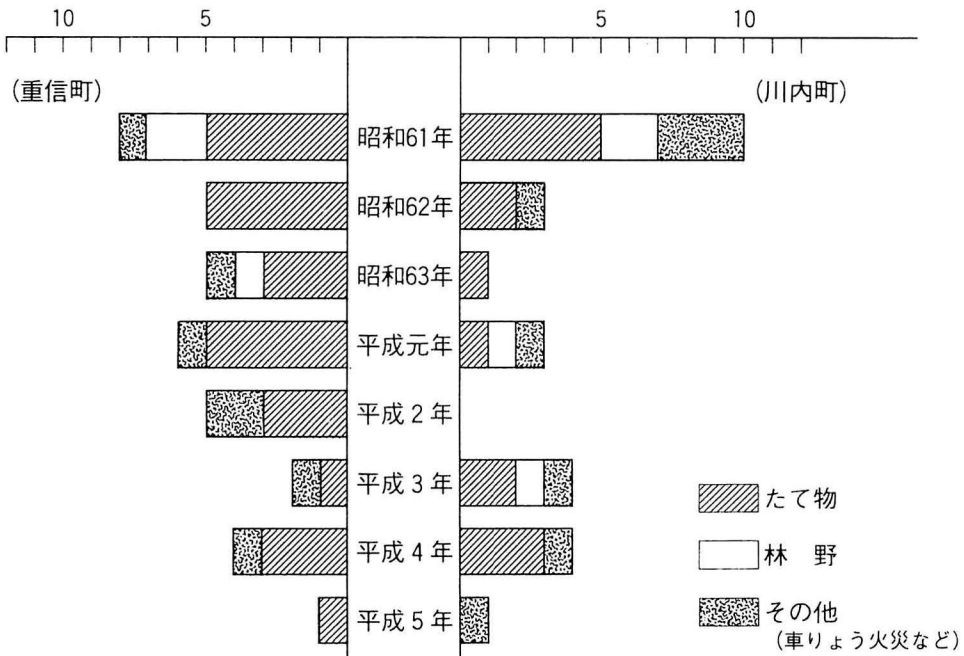


消火活動



出勤にそなえたふくそう  
(放水するところ)

があります。これらは、いつでも出動できるように、整備されています。また、署員三十名は、毎日訓練をして、万一の時に備えています。



重信町・川内町の種別火災の回数

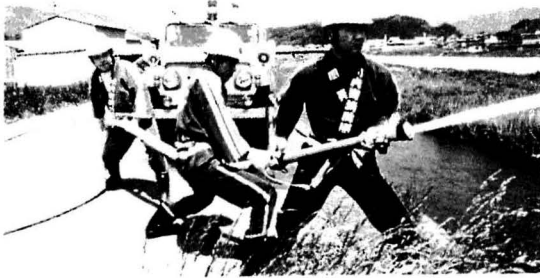
○ 東温地区では、何の火災が多いでしょう。

## (2) 消防団 しょうぼうだん

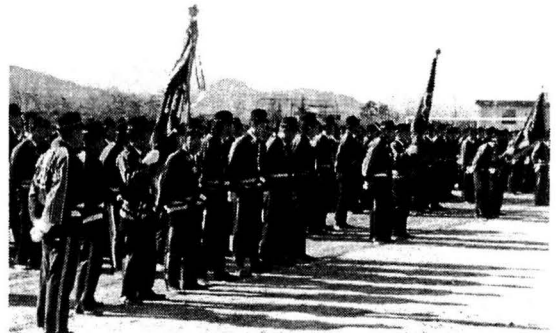
東温消防本部や消防署を中心に、川内町、重信町に消防団がおかれています。川内町は、やぐら役場にある消防団本部と八分団からなり、重信町は、消防団本部と三分団からなりたっています。

消防団員は、火災や水害がおけると、すぐに出動できるようになっています。川内町の消防団員は、三百二十五名います。この人たちは、地いきで分団をつくり、消防ポンプをおいて、消防署の自動車がかつけけるまで火をけす努力をします。このようにして、地いきの消防団と消防署が協力して、町の人びとを災害から守っているのです。

○ 次のページの地図から、消防分団がどのようなようになってるか話し合ってみましょう。



出ぞめ式のくれん

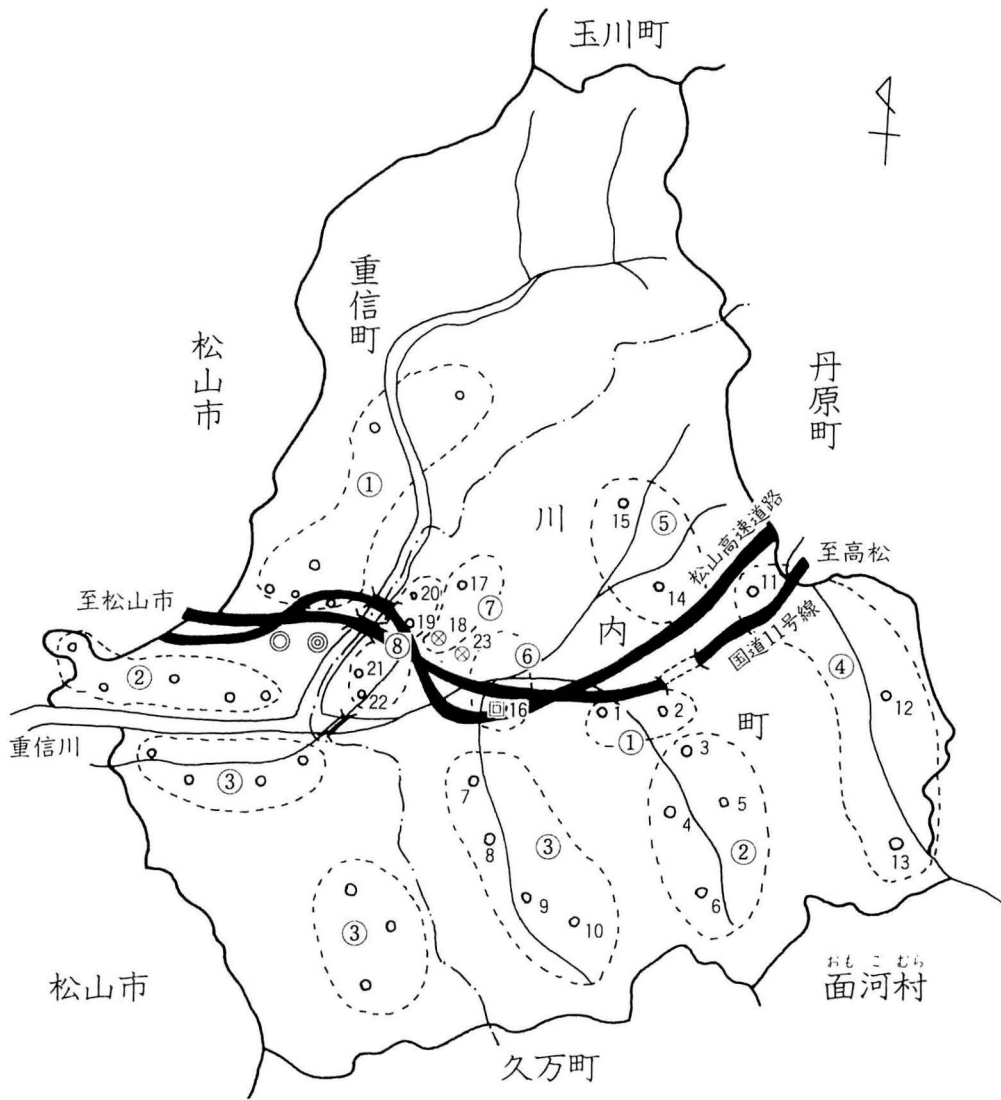


出ぞめ式



消防団の出動 しゅうどう

消ぼう分団と消ぼうポンプのおきば



◎ 東温消防署

◎ 消防団本部①～⑧分団

- 手でかく  
小型動力ポンプ……………20
- 消防ポンプ積載車……………1
- ⊗ 消防ポンプ自動車……………2

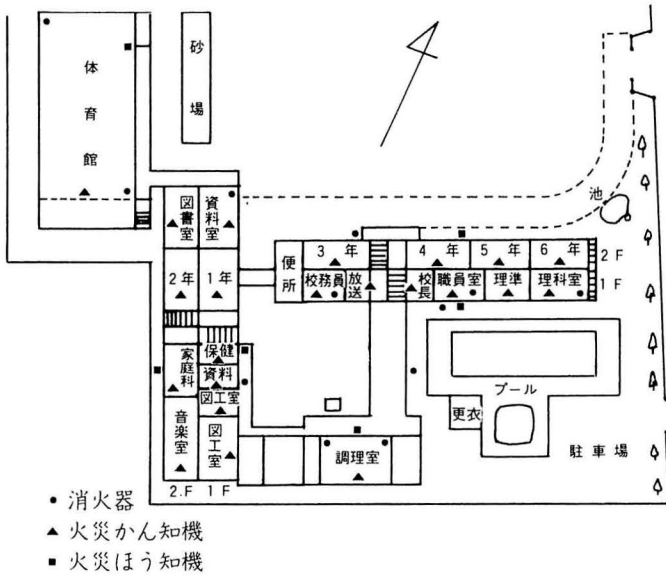
川内町の消防ポンプおきば

1	すのうち いしはら	7	すのうち そうだたに	13	なめかわ かいしょ	19	さ や の き
2	すのうち とくよし	8	い うち くらもと	14	ませかわ ひわだ	20	きたがた ふるいち
3	かわのうち おんだ	9	い うち ろくじぞう	15	ませかわ かわすじ	21	きたはちまん
4	かわのうち かりば	10	い うち おおひら	16	い ち が た に	22	みなみがた まがり
5	かわのうち ひうら	11	かわのうち つちや	17	きたがた はらおき	23	や く ば
6	かわのうち といや	12	なめかわ しもなかや	18	きたがた しもおき		

(平成六年調べ)

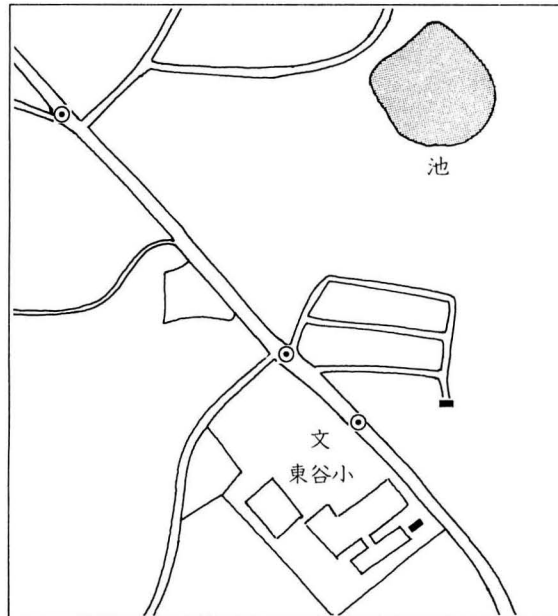
### (3) 学校や地域の消防施設しせつ

○ 学校のあちこちで、消火器や火さいほう知機を見かけたことがあると思います。学校の消防施設には、火事を知らせるもの、火事を消すもの、火事が広がるのを防ぐもの、命を助けるものなどがあります。校内をまわって調べてみましょう。



東谷小学校の消防施設

○ みなさんの家の近くや、学校のまわりで消火せんや防火水そうを見つけて、地図に書きこんでみましょう。



消火せんや防火水そうのあるところ

● 消火せん  
■ 防火水そう



消火せん

## 2 火事の予防

○ 火事がおきると、消防署を中心として、いろいろな人びとの協力により、火事を早く消す努力をしますが、火事は、おきてからではおそいのです。では、火事を予防する活動はどのようなになっているのでしょうか。消防団の活動としては、

- 各家に防火ポスターを配る。
  - 夜けい（夜の見回り）
  - 有線放送を使つての防火の呼びかけ
- などがあります。

消防署の活動としては、

- 広報車による防火の呼びかけ
- 防火診断：器具の正しい使い方を教える。

- 火事の原因になりそうなところをなお

す指どうをする。

○ 建物や器具のけんさ  
などがあります。このようにして、火事をおこさないように人びとに呼びかけています。また、消防署では、火事が広がる前に消火できるように、消火器の使い方を町民に教えて回っています。

○ 少年消防クラブを結成して、活動していただきます。どのような活動をしていますか。

○ まとめてみましょう。

○ 町では、火事を早く消すために、どのような活動をしていますか。

- 連らくのしくみ
- いろいろな人びとの協力

○ 町では、火事を予防するために、どのようにしているでしょう。



(二) 交通事故のない町に

1 おそろしい交通事故

川内町内の道路や国道十一号線での交通事故について調べてみましょう。

瀬戸大橋と高速道路が開通してから、川内町を通るバスや自動車の台数がふえてきました。そのために、国道十一号線での交通事故も多くなってきました。

▼調べる計画▲

調べること	調べかた
○川内町では、いつでも、何件ぐらゐの交通事故がおきてるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●松山東警察署川内交番の人に聞く。</li> <li>●町の係の人に聞く</li> <li>●しりょうを見る。</li> </ul>

○小・中学生の交通

事故数

○死者や傷者の数

○交通事故の原因

●写真を見る。

2 交通事故の原因

交番のおじさんの話

川内町内の交通事故			
	発生(件)	死者(人)	傷者(人)
平成3年度	113	1	160
平成4年度	94	2	153
平成5年度	88	1	136
川内町を通る国道11号線の交通事故			
	発生(件)	死者(人)	傷者(人)
平成3年度	327	3	442
平成4年度	329	5	481
平成5年度	366	7	511

川内町では交通事故がたくさんおきて



国道11号線での交通事故



国道11号線での交通事故

います。交通事故の原因で、一番多いのは、運転手さんが前をよく見ていない時間です。みなさんも、いつ事故に会うかわかりません。車は、よけてくれるものだと安心してはいけません。交通事故のお話を聞いたり、原因を調べたりして、みなさん一人一人が、どういうことに注意すればよいのか話し合ってみましょう。

### 3 交通事故を防ぐ

#### (1) 交通安全の日

交通事故を防ぐために、毎月二十日を交通安全の日と定めて、全国各地で、交通事故0をめざして、取り組んでいます。

川内町でも、役場前には、「安全の日」とかいた安全旗が立ちならび、人々に、交通安全への関心をよびかけています。

交通安全指導員のおじさん、おばさんも、交差点に立ち、道行く人々に注意をよびかけています。

西谷小学校でも、毎月十四日から二十日までを安全通学強調週間として、先生方が、学校前で、登校指導をしています。二十日には、二名の交通安全指導員のおじさんも来て、登校指導をしてくださっています。

○ 毎日の登下校のようすについて反省し、交通事故防止について、話し合いました。



20日の川内町役場前



登校指導

## (2) 交通安全教室

学校では、交通事故防止をねがって、交通安全教室を開いています。

内容として、

- 交通安全に関するお話
- 信号機を使つての歩き方、安全登校旗どうこうきの使い方



交通安全教室



自転車検定

• 自転車の正しい点検てんけんや手入れの仕方

• 自転車の安全な乗り方

などを取りあげ、松山東警察署、川内交番こうこうばんの方や、川内町役場の方、交通安全指導員、PTA生活指導部の方々にも来ていただき、指導を受けています。

○ わたしたちを交通災害さいがいから守ってくれる人々の仕事について、調べてみましょう。

### 三 地域の開発

わたしたちが、今のようにならざるに豊かなくらしができるようになったのは、むかしからの多くの人びとの努力や工夫のおかげです。

#### (一) 川内町のためにつくした人びと

##### ▼調べる計画▲

調べること	調べかた
<p>○川内町のためになんな人々がつくしたただろう。</p> <p>○どんなことをしたか。</p>	<p>・銅像や石ひになつて名が残っている人を調べる。</p> <p>○「川内町新誌」などで調べる。</p>

○よくなったこと。

○お年よりに聞く。

現在の東谷地区・西谷地区は、今から四十年くらい前までは、温泉郡三内村とよばれていました。



近藤金四郎翁の胸像

した。名は近藤金四郎といい、ニックネームどおり道づくりに全せい力をかたむけた人でした。

金四郎は、大正八年から昭和二十一年までの長い間、村長として、村の人びとの豊かな生活をねがって、村のためにつくし、人びと

この村に、「道

金さん」というニ

ックネームでよば

れ、尊敬されてい

た村長さんがいま

から尊敬され、親しまれた人です。

自分自身、心を美しくもつように努力し、けんやくにつとめ、農業と林業の生産を高めることに力をそそぎました。また、生産を高めるための工夫をしたり、生産物をまとめて市場に出したりする信用組合（現在の農協の前身）や森林組合をつくり、さいしよの組合長として、そのもとをつくりました。

また、三内村は、三方が山でかこまれた土地がらであるため、生産を高めるためには、道路をつくり直すことが必要であることを、村の人びとにいっしょうけんめい説明をしました。そして、村道や耕作道路を広げたり、林道を新しくつくったり、県道をつくり直したりすることに心をくばりました。しかし、

県道黒森線（今の国道四九四号線）をつくり

直すのは、たいへんな仕事でした。

金四郎は、大正十一年より「黒森促成実行会長」となって、上浮穴郡の農林生産物（あずき、あわ、とうもろこし、木材、炭など）の運搬による利益や交通の便利さを村の人びとにうったえました。

でも、人びとの中には、道路ができれば自分の畑や山がへるとか、そんなことできるはずがないなどと言って反対する声もありました。

しかし、金四郎の熱心なはたらきかけにより工事は始まりました。でも、当時の道具といえは、人の力にたよったつるはしやもっこ、くわなどが中心で、工事はなかなか進みませんでした。

第一期と第二期の工事が終わったときには、

資金がなくなり、工事が続けられなくなってしまいました。そこで、工事を続けるため、金四郎は自分の森林をほとんど売りはらい、それを資金にあてたのでした。



黒森線  
（今の国道494号線）

ました。

ちょうどこの日、金四郎はじめ村の人びとの長年のねがいであった黒森線が開通しました。今まで馬や人しか通れなかった道に、自動車<sup>自動車</sup>が走るようになり、農産物の生産、木材の切り出しなどたいへん便利<sup>べんり</sup>になりました。

このように、黒森

線の道路をはじめ、

村のために一生をさ

さげて、昭和三十年

七月三十一日に七十

六歳<sup>さい</sup>でこの世を去り

人びとは、とてもよろこび、金四郎に感し

やするとともに、そのりっぱな行いをたたえ

て河之内金毘羅寺<sup>かわのうちにんびらじ</sup>けいだいに胸像をたてまし

た。

そして、その尊<sup>たうと</sup>い行いは、後の世にもずつ

と語り伝えられています。

川内町のためにつくした人びとには、近藤

金四郎のように事業を起こした人だけでなく、

医りようにつくした人、教育者、詩人、学者、

俳人<sup>はいじん</sup>などいろいろな分野<sup>ぶんや</sup>の人がいます。

(二) 新しい地いきづくり

川内町では、より豊かなくらしができるように、そして、人と人との交流が活発になるようにと、いろいろな開発に力を入れていきます。

川内町で、今、さかんに開発され、発展しているところはどこでしょう。

▼調べる計画▲

調べること	調べかた
○工場の集まっている所。	・地図を見る。
○新しい家の多い	・町の人に聞く。

所。

○新しい道と古い

道。

○田の改良。

○公園

・しりょうを見る。

・農家の人に聞く。

・写真を見る。

・お年よりに聞く。

○川内町では、新しい工場がたくさん建てられています。

工場がたくさんできると、どんなよいことがおこるのでしょうか。その第一は、やはり町内に住む人たちの働くところができるということです。

でも、工場ができると、いろいろな問題もおこります。大きな音もその一つです。そこで川内町では、新しくできる工場をなるべく一つの場所へ集めることにしました。そして





工業団地のようす

工場の集まっているところを、工業団地とよんでいきます。  
工業団地の中には、どんなものを作っている工場があるでしょうか。



新しい道にそってできた工場



新しい住宅地

○ 川内町の人口は、年々増ふえています。これは、新しく生まれてきた人たちと、ほかの市町村から川内町に新しく家をたてて住ようになった人たちがいるからです。

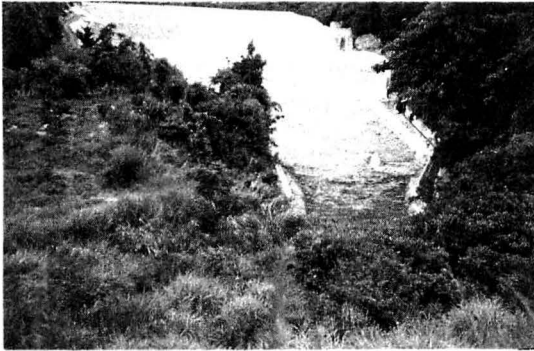
白地図を使って、川内町のどのあたりに新

しい家がた  
くさん建たつ  
ているのか  
調べてみま  
しょう。

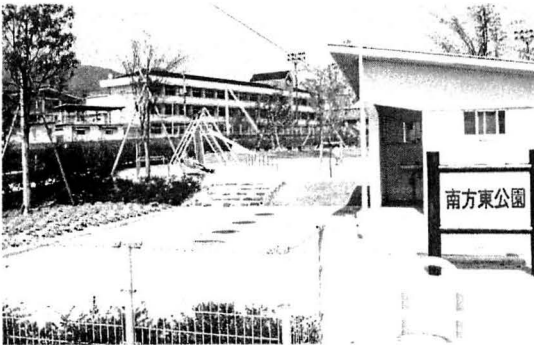


完成したインターチェンジ  
(上 高松へ 下 松山へ)

○ 平成六年十一月には、左の写真のような  
高速道路インターチェンジが完成しました。  
この高速道路は、香川県で瀬せ戸大橋とつな  
がり、岡山県へと続いています。  
高速道路は、人や物の行き来をさかんにし、  
川内町の産業の発展にもつながります。その  
ため、他の道路も整備びしています。



むかしの田(上)と新しい田(下)  
(北方西之側)



整備された公園  
(上 塩が森ふるさと公園、下 南方東公園)

○ 北方や南方、則之内などでは、田畑のつくりかえをしました。なぜこのようなことをしたのでしょうか。田畑を新しく整備する前と、した後のようすを比べてみて、そのようすのちがいからどのようなことが分かるか話し合ってみましょう。

また、農家の人たちにも聞いて、よくなったことをまとめましょう。

○ 川内町には、公園がいくつもあります。今では、塩ヶ森も川内公園もりっぱに整備されて、町民のいこいの場として利用されています。

特に塩ヶ森については、国からの補助金<sup>ほじょきん</sup>も出て、四季おりおりの花が見られたり、イベントが開かれたりする公園に生まれかわりました。

お世話になつた先生方

編集委員(平成七年三月改訂)

- 委員長 竹田敏行(川上小学校長)  
 委員 野口桂子(川上小教諭)  
 " 野口学( " )  
 " 曾我部節美( " )  
 " 渡部勇次( " )  
 " 松木泰男(東谷小教諭)  
 " 和田利男( " )  
 " 本田知嗣(西谷小教諭)  
 " 渡部加代子( " )

昭和五十八年四月改訂

- 菅茂晴 相原俊雄  
 渡部佳子 野口桂子  
 渡部洋美 大森典子  
 山中律子  
 矢野陽子

昭和六十一年四月改訂

- 矢能一成 渡部英隆  
 渡部利博 古川勝聰  
 帆足すま子 渡部洋美  
 中野将誉  
 近藤キサ子  
 篠原哲郎

平成元年四月改訂

- 青井正史 渡部英隆  
 浜田芳美 古川勝聰  
 野口桂子 渡部洋美  
 酒井孝 門田美保子  
 中野将誉  
 松木泰男

平成三年四月改訂

- 野首恒明 近藤重利  
 野口学 古川勝聰  
 野口桂子 渡部利博  
 近藤キサ子  
 松木泰男  
 曾我部洋一

平成四年三月改訂

- 野首恒明 近藤重利  
 野口学 古川勝聰  
 野口桂子 渡部利博  
 近藤キサ子  
 松木泰男  
 曾我部洋一



川内町のうつりかわり

おとも なでつきごと

県・松山

川内町

何年前 年 時代

松山県となった。  
石鉄県となった。  
愛媛県となった。  
松山郵便局(松山駅)ができた。  
新聞ができた。

はじめて県議会が開かれた。  
松山電信局ができた。  
銀行ができた。

松山・三津間に汽車がはしった。  
松山が市になった。

いよかんのさいばいがはじまった。  
横河原線が通じた。  
湯山に発電所ができた松山に電灯がついた。  
高浜港のさんばしができた。  
松山に市内電話ができた。

バスががよつた。(北条まで)一番町・道後間に電車がはしった。  
愛媛自動車会社が二番町にできた。  
井関農機ができた。

このころ県内にバスが四台あった。  
国鉄松山駅ができた。  
高浜線がボギー車になった。  
水上飛行機が梅津寺に着くようになった。

松山にNHK放送局ができた。  
松山が戦争でやけた。  
愛媛大学ができた。

松山空港ができた。  
松山でテレビ中継放送がはじまった。  
滑川の発電所ができた。  
面河ダムができた。  
松山観光港ができた。  
愛媛大学医学部ができた。  
大三島大橋ができた。

総合運動公園ができた。  
高速道路が一部開通した。(土居川之江間)  
砥部動物園ができた。

1990  
1980  
1970  
1960  
1950  
1940  
1930  
1920  
1910  
1900  
1890  
1880  
1870

北方村・松瀬川村・南方村・吉久村・井内村・則之内村・河之内村・滑川村・明河村、村の制度がかわった。  
北方に久米第一小学校ができた。(県立でせいとは二〇人くらい)  
川上郵便投所ができる。  
このころ、国鉄がなかったため、郵便物などはこんびら街道を  
通ってはこんだので、川上駅が大へんさかえた。

久米郡川上村(北方・松瀬川・吉久・南方)、下浮穴郡三内村(井内・則之内・河之内)、桜樹村(滑川・明河)の三つの大きな村にまとまった。(明治二十三年)  
川上尋常小学校ができた。(明治二十三年)  
川上ではじめて自転車をはしった。  
重信川のどてがき、田や畑や家が流された。  
高等小学校(北吉井村・川上村・三内村の共立)が南昌寺にできた。

温泉郡川上村・三内村となった。(明治三十年)  
国道三十一号線が開通した。(大正九年に二十四号線となる)  
客馬車ができた。  
東谷線・西谷線・桜三里の中山越しなどの道路がよくなった。  
このころまで土谷の宿場が栄えた。

みかん・なしなどくだものをうえだした。  
三内第一(東谷)・第二(西谷)・第三(土谷)尋常高等小学校ができた。(明治三十八年)  
郵便局が電報をはじめた。  
川上古ふんが発見された。  
園芸組合ができた。  
ふゆうがきをうえた。  
かいこさんをかうのがさかんになった。  
水力発電が恵雲ではじまった。  
川上村役場がたつた。  
川上農業協同組合ができた。  
三内農業協同組合ができた。  
横河原と茶堂の間に木の橋ができた。  
乗合自動車を通りだした。






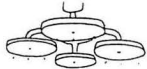





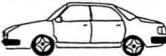













松山と川上との間に電話が通じた。  
このころ川上駅(中之町のあたり)が大へんにぎわった。  
横河原橋が木橋からコンクリートの橋になった。(二三六・六m)  
三内村役場がたつた。  
川上と松山の間をバスが通うようになった。  
ハイヤーがはしりだした。

らく農組合ができた。  
三内村森林組合ができた。  
川上村森林組合ができた。  
二年間つづいて水害があり、大地しんがあった。

川上村商工会ができた。  
国道二十四号線が国道十一号線となった。(旧国道)  
三内村に有線放送電話ができた。  
川上村と三内村が一つになり川内村になった。(昭和三十年)人口一、八六九人  
川上地区に村内電話ができた。  
川内町となり滑川明河地区がいつしよになった。(昭和三十一年)  
川内町役場がたつた。  
黒森峠に県道が開通した。  
川内橋ができた。三軒屋橋・板屋ノ子橋もできた。  
川内中学ができた。(川上・三内・松瀬川・滑川の四中学校が統合された)  
横河原橋をひろげた。  
川内公園ができた。  
伊予鉄バス川内営業所ができた。  
新しい国道十一号線ができた。(新国道)  
中央公民館ができた。  
簡易水道工事がはじまった。  
塩が森にテレビ放送の中継所ができた。

松下寿電子工業・東予産業・マヤ衣料・朝日鋼業・ダイキなど大きな工場がどんどんできた。  
有線放送が自動化になった。  
ガリヤヤ荘(特別養護老人ホーム)ができた。

町民憲章・町章がきまった。  
中央公民館ができた(新築移転)  
東温消防署ができた。  
勤労者体育センターができた。  
法界門橋が新しくつくりかえられた。  
見奈良大橋ができた。  
川上小学校体育館ができた。  
川内町耕地整理が始められた。  
川内インターチェンジくい打ち。  
川内中学校特別教棟ができた。  
名譽町民大西梅吉さんが亡くなった。  
名譽町民藤井 正さんが亡くなった。  
川内インターチェンジが完成した。

いま	10年まえ	20年まえ	30年まえ	40年まえ	50年まえ	60年まえ	70年まえ	80年まえ	90年まえ	100年まえ	110年まえ	120年まえ	
1990	1980	1970	1960	1950	1940	1930	1920	1910	1900	1890	1880	1870	
平成	昭和			昭和			大正		明治			明治	
												学校のうつりかわり	
													明かり
												乗り	
												物	
												米作り	
				足ふみだっこ機			まんごく		もみすりうす			せんばこぎ	

くらしや  
どうぐの  
うつり  
かわり



学校のうつりかわり

川上小学校 松瀬川小学校

東谷小学校 滑川小学校 土谷小学校

西谷小学校

第三中学区一三番小学校 明6  
第三中学区一六九番小学校 明7

私立培達学園創立(日浦・松尾)  
地蔵小学校を設  
置する。  
・培達学園土谷分校、相之谷分校設置する。

・私立培達学園創立  
・豫則小学校を大字井之内和田丸に設置する。  
・吉内小学校を大字井内宮川橋下の民家に設置する。

・久米第一小学校下黒立として北方村字中村に設置する。  
・河東小学校を南昌寺に設置する。  
・松瀬川村三軒屋に設置する。白杉小学校を松瀬川中村に設置する。

・千原小学校滑川分校設置 滑川村下仲屋  
・滑川小学校となる  
・相之谷分校を土谷簡易小学校に統合する。  
・河之内校全境を金毘羅下民家に移転(寺川音吉方)

・吉内小学校を寒泉小学校と改称する。  
・寒泉小学校、共立川上小学校第二分校となる。

・松尾小学校と白杉小学校を合併し松瀬川簡易小学校と改称する。  
・改正小学校令実施により、時雅小学校と翠松小学校を合併し、北方尋常小学校と改称する。河東小学校は道向尋常小学校と改称する。

・相之谷分校を土谷簡易小学校に統合する。  
・河之内校五村と合併して、桜樹村となる。  
・東谷、西谷簡易小学校を併合して則之内尋常小学校とし、保免に設置する。  
・滑川尋常小学校と改称する。  
・土谷尋常小学校と改称する。

・天向校を井内尋常小学校と改称する。  
・東谷、西谷簡易小学校を併合して、則之内尋常小学校として保免に設置。  
・豫則校下の分は西谷簡易小学校と改称する。  
・共立川上小学校第二分校を天向尋常小学校と改称する

・川上尋常小学校となる。  
・川上尋常小学校松瀬川分校となる。  
・松瀬川尋常小学校として設立する。  
・南方南昌寺に川上高等小学校を設置する。  
・赤痢流行(児童死者五名)  
・本年より、卒業式、入学式を行う。

・三内高等小学校安国寺に設立。  
・河之内校全境を金毘羅下民家に移転(寺川音吉方)  
・則之内尋常小学校(東谷分)、河之内尋常小学校を統合し三内第一尋常高等小学校と改称する。  
・三内第一尋常高等小学校を三内第一尋常高等小学校と改称する。  
・運動会、前之内甲三三四番地の現在地に竣工。  
・土谷尋常小学校、三内第三尋常小学校と改称する。

・安国寺にて、大学芸会を開催する。  
・則之内、井谷を合わせ、三内第二尋常高等小学校の創立を認める。  
・現在地に新築落成する。

・郡名改称(温泉郡となる)。  
・川上尋常小学校新築。北方・南方の仮教場を合わす。  
・小学校令改正(義務教育四年となる)。  
・川上尋常高等小学校を設置する。

・三内第一実業補習学校 滑川小：下仲屋一五二三番を設置。  
・三内第一実業補習学校 滑川小：地に校舎新築移転を設置。  
・ぶんこ、回転塔などの遊具を新設する。  
・流感のため、二週間学校を閉鎖する。  
・土谷小学校舎増築落成  
・土谷小の校舎新築落成(東谷小学校と統合するま)で使用する。

・則之内、井谷を合わせ、三内第二尋常高等小学校の創立を認める。  
・現在地に新築落成する。

・運動場拡張  
・校舎増築  
・校舎増築  
・校舎増築  
・校舎増築

・学校で秋蚕を飼育する。  
・運動場を拡張  
・運動場排水工事を行う。  
・西校舎新築落成  
・滑川小：校舎増築落成  
・三内第一実業補習学校 滑川小：下に校舎新築移転を設置。  
・ぶんこ、回転塔などの遊具を新設する。  
・流感のため、二週間学校を閉鎖する。  
・土谷小学校舎増築落成  
・土谷小の校舎新築落成(東谷小学校と統合するま)で使用する。

・校制制定  
・三内西谷尋常高等小学校と校名改称

・アメリカから、青い目の人形がどくとく。  
・運動場拡張  
・ピアノ購入  
・松瀬川尋常高等小学校となる。

・創立二十五周年記念式挙行  
・土谷小の校地拡張  
・三内第一実業補習学校 滑川小：下に校舎新築移転を設置。  
・ぶんこ、回転塔などの遊具を新設する。  
・流感のため、二週間学校を閉鎖する。  
・土谷小学校舎増築落成  
・土谷小の校舎新築落成(東谷小学校と統合するま)で使用する。

・校制制定  
・三内西谷尋常高等小学校と校名改称

・融和教育(みんなど仲良し)の研究会をする。  
・八月十五日終戦。十月：校庭浸水23cm  
・学制改革：小学校6年・中学校3年の義務教育となる。  
・川上小学校と改称。  
・幼児学級開設

・創立二十周年記念式挙行  
・土谷小の校舎増築落成  
・校名を三内東谷尋常高等小学校と改称  
・運動場拡張。ストープ新設。滑川小学校一棟全焼。  
・南校舎新築。西校舎改築。  
・滑川尋常高等小学校と改称  
・三内東谷国民学校と校名改称  
・三内東谷国民学校と校名改称  
・土谷国民学校と校名改称  
・土谷国民学校と校名改称  
・名改称  
・ピアノ購入  
・実習田拡張  
・大阪より朝日国民学校集団疎開児五六名受入。  
・東谷小学校と校名改称  
・滑川小学校と校名改称  
・土谷小学校と校名改称  
・校内放送開始  
・滑川小：校舎新築落成  
・滑川小：中川村立滑川小学校となる。  
・土谷小：創立五十周年記念式挙行。  
・滑川小：川内町立滑川小学校となる。

・五月：伊予鉄バス井内まで開通。  
・七月：水害を受ける。  
・三内西谷国民学校と校名改称  
・ピアノ寄贈

・創立六十周年記念式  
・ユニセフ粉乳給食開始  
・トレン開設  
・ブルル竣工  
・簡易水道校内配管  
・暴風雪のため林校  
・通学歩道橋完成  
・松瀬川小学校を合併統合する。  
・給食センター落成  
・創立八十周年記念  
・北校舎(鉄筋二階)落成  
・中庭に芝生植付  
・南校舎(木造)の除去  
・正門に校訓碑を建立  
・創立九十周年記念式を行う。  
・正門門柱の建立

・町立幼稚園開設  
・創立六十周年記念式挙行  
・ブルル大改修  
・土谷小閉校式  
・校訓碑建立  
・新館鉄筋校舎落成。各教室にテレビ設置  
・一ヶ谷、齋院之瀬橋開通歩道完成  
・新館と本館を結ぶ渡廊を新設  
・屋内運動場落成  
・簡易水道を使用  
・ビデオ施設一式設置。グラウンドピアノ購入  
・創立七十周年記念式挙行  
・滑川小閉校式  
・東谷スポーツ少年団結成  
・補助ブルル竣工  
・ビデオ放送施設をカラーに換える。

・自転車置き場設置  
・ブルル改修  
・菜穂堂小屋建設  
・西谷緑の少年隊発会式  
・焼却炉設置  
・屋内運動場落成  
・優良こども銀行大蔵大臣表彰  
・全日本学校造林コンクール準特選  
・台風十六号により南校舎被災。南校舎取り除け  
・鉄筋校舎建築起工式  
・北校舎取り除け。創立七十周年  
・校舎落成式  
・庭園造成。全日本学校造林コンクール入選  
・創立六十五周年記念式挙行  
・校訓碑完成

・川上幼稚園設置  
・川上・三内両村合併し、川内村となる。村立となる。  
・運動場西南堤防築造  
・滑川地区合併、川内町制実施  
・町立となる。  
・青少年赤十字団結成  
・学校給食開始  
・中学校新築落成に伴い、旧中学校舎を引継ぎ  
・農業休業を廃止する。  
・テレビ取付。グラウンドピアノ寄贈を受ける。  
・創立七十周年記念式  
・講堂落成。特殊学級新設  
・トレン開設  
・ブルル竣工  
・簡易水道校内配管  
・暴風雪のため林校  
・通学歩道橋完成  
・松瀬川小学校を合併統合する。  
・給食センター落成  
・創立八十周年記念  
・北校舎(鉄筋二階)落成  
・中庭に芝生植付  
・南校舎(木造)の除去  
・正門に校訓碑を建立  
・創立九十周年記念式を行う。  
・正門門柱の建立

・町立幼稚園開設  
・創立六十周年記念式挙行  
・ブルル大改修  
・土谷小閉校式  
・校訓碑建立  
・新館鉄筋校舎落成。各教室にテレビ設置  
・一ヶ谷、齋院之瀬橋開通歩道完成  
・新館と本館を結ぶ渡廊を新設  
・屋内運動場落成  
・簡易水道を使用  
・ビデオ施設一式設置。グラウンドピアノ購入  
・創立七十周年記念式挙行  
・滑川小閉校式  
・東谷スポーツ少年団結成  
・補助ブルル竣工  
・ビデオ放送施設をカラーに換える。

・自転車置き場設置  
・ブルル改修  
・菜穂堂小屋建設  
・西谷緑の少年隊発会式  
・焼却炉設置  
・屋内運動場落成  
・優良こども銀行大蔵大臣表彰  
・全日本学校造林コンクール準特選  
・台風十六号により南校舎被災。南校舎取り除け  
・鉄筋校舎建築起工式  
・北校舎取り除け。創立七十周年  
・校舎落成式  
・庭園造成。全日本学校造林コンクール入選  
・創立六十五周年記念式挙行  
・校訓碑完成

・青少年赤十字加盟二五周年記念碑建立  
・屋内体育館を新築落成する。  
・テレビスタジオ設置  
・創立百周年記念式典を行う。  
・正門に創立百周年記念碑を建立  
・ブルル改修  
・多目的教棟・児童中央玄関落成  
・本館校舎大規模改修

・優良こども銀行として全国表彰  
・創立八十周年記念式  
・理科室改修  
・校舎大規模改修  
・バスコン設置・ブルル改修  
・調理室等改築

・体育倉庫建設  
・創立八十周年  
・愛鳥モテル校指定  
・体育館屋根突風のため破損・修理  
・野鳥愛護校指定・第二回愛媛県緑の少年団活動発表会(最優秀賞受賞)

・創立百周年記念式典を行う。  
・正門に創立百周年記念碑を建立  
・ブルル改修  
・多目的教棟・児童中央玄関落成  
・本館校舎大規模改修

・優良こども銀行として全国表彰  
・創立八十周年記念式  
・理科室改修  
・校舎大規模改修  
・バスコン設置・ブルル改修  
・調理室等改築

・体育倉庫建設  
・創立八十周年  
・愛鳥モテル校指定  
・体育館屋根突風のため破損・修理  
・野鳥愛護校指定・第二回愛媛県緑の少年団活動発表会(最優秀賞受賞)

・創立百周年記念式典を行う。  
・正門に創立百周年記念碑を建立  
・ブルル改修  
・多目的教棟・児童中央玄関落成  
・本館校舎大規模改修

・優良こども銀行として全国表彰  
・創立八十周年記念式  
・理科室改修  
・校舎大規模改修  
・バスコン設置・ブルル改修  
・調理室等改築

・体育倉庫建設  
・創立八十周年  
・愛鳥モテル校指定  
・体育館屋根突風のため破損・修理  
・野鳥愛護校指定・第二回愛媛県緑の少年団活動発表会(最優秀賞受賞)

・創立百周年記念式典を行う。  
・正門に創立百周年記念碑を建立  
・ブルル改修  
・多目的教棟・児童中央玄関落成  
・本館校舎大規模改修

・優良こども銀行として全国表彰  
・創立八十周年記念式  
・理科室改修  
・校舎大規模改修  
・バスコン設置・ブルル改修  
・調理室等改築

・体育倉庫建設  
・創立八十周年  
・愛鳥モテル校指定  
・体育館屋根突風のため破損・修理  
・野鳥愛護校指定・第二回愛媛県緑の少年団活動発表会(最優秀賞受賞)

・創立百周年記念式典を行う。  
・正門に創立百周年記念碑を建立  
・ブルル改修  
・多目的教棟・児童中央玄関落成  
・本館校舎大規模改修

・優良こども銀行として全国表彰  
・創立八十周年記念式  
・理科室改修  
・校舎大規模改修  
・バスコン設置・ブルル改修  
・調理室等改築

・体育倉庫建設  
・創立八十周年  
・愛鳥モテル校指定  
・体育館屋根突風のため破損・修理  
・野鳥愛護校指定・第二回愛媛県緑の少年団活動発表会(最優秀賞受賞)

時代 昭和 大正時代 明 治 時 代 平成時代

63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

Main content area with historical events and dates for each year.